

新総合計画の策定に係るアンケート調査について

新たな総合計画の策定に当たり、幅広く県民の意見を反映させるため、県民や有識者、県内外在住の若者を対象としたアンケートを実施したものの。

1 調査内容

(1) 県民意識調査 (H29年1月～2月実施)

〈目的〉総合計画に掲げる政策に関する県民ニーズの把握

〈対象〉県内の満年齢18歳以上の男女2,000名(無作為抽出)、県政モニター193名
計2,193名

〈項目〉

- ・未来の富山に関する意識調査(10年後の県民生活に係る県民意識)
- ・選好度調査(現行計画の各項目についての県民ニーズ〈重要度と充足度〉)

(2) 有識者アンケート (H29年1月実施)

〈目的〉県政の主要な課題及び将来展望に係る、各分野の有識者等の意見の把握

〈対象〉県内外の有識者(県の審議会委員、大学教授、民間団体の長等) 794名

〈項目〉

- ・10年後の県民生活のイメージ、富山県の魅力形成に重要なこと など
- ・分野ごとの課題や施策の方向性(今後10年間に重視していくべきこと)

(3) 若者アンケート(H28年12月～H29年2月実施)

〈目的〉次代を担う若者の将来に対する意識や富山県に対する認識の把握

〈対象〉満年齢18歳～29歳の男女 3,600名

- ・県内高校出身者(県内、県外在住):2,000名
- ・県内在住大学生(県内、県外出身): 400名
- ・県内企業就職者(県内、県外出身):1,200名

〈項目〉

- ・定住、就業、結婚、家庭に関する意識
- ・富山県の現状と課題・将来像

2 調査結果の概要

(1) 県民意識調査……P1～8

(2) 有識者アンケート…P9～42

(3) 若者アンケート……P43～54

(1) 県民意識調査

県民意識調査概要

○対象

県内の満年齢18歳以上の県民(無作為抽出)及び県政モニター

県民 2,000 人＋県政モニター193 人 計 2,193 人→回答 985 人(44.9%)

○結果の要点

1. 意識調査(10年後の県民生活のイメージ)

- ・「情報化が更に進展している」「様々な文化を楽しむ機会が増加している」「学術研究や科学技術、スポーツ・文化等の分野で活躍する人が増えている」と**思う人**がいずれも50%を超え、**情報化が更に進展するとともに、文化に親しむ機会や各分野で活躍する県民が増加している**と考える人が多い。
- ・「誰もが住み慣れた地域で自立した生活ができる社会が実現している」「医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後を送ることができる」「仕事と子育ての両立がしやすいなど、安心して子どもを産み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている」「誰もが自分にあった働き方を選択できる環境が整っている」と**思わない人**がいずれも50%を超え、**今後の少子高齢化の進展や社会保障などに対する不透明感や不安感等を反映**。

2. 選好度調査

(1) 重要度(現行総合計画の各項目がどの程度重要であるか)

- ・ 現行総合計画の各項目の重要度については、「子どもの健全な育成」「家庭・地域・職場における子育て支援」「子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」が上位3つを占めるなど、**子育て・教育の分野が重要**であるとの認識が示されている。

また、「医療提供体制の充実」「地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」がそれぞれ4位、6位となるなど、**健康・福祉の分野も重要**であるとの認識が示されている。

(2) 充足度(現行計画の各項目がどの程度充足されているか)

- ・ 現行総合計画の各項目の充足度については、低い順に「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」「雇用の確保と人材の育成」「中心市街地の賑わいの創出」となるなど、**まちの活力や雇用・人材に関する充足度が低い**との認識が示されている。

また、「生活交通の確保」が4位に、「若者の自立促進とチャレンジ支援」「男女共同参画の推進と女性の能力の発揮」がそれぞれ6位、10位となるなど、**県民の生活を支える公共交通サービスや若者・女性の活躍に関する項目の充足度が低い**傾向が見られる。

○調査結果(抜粋)

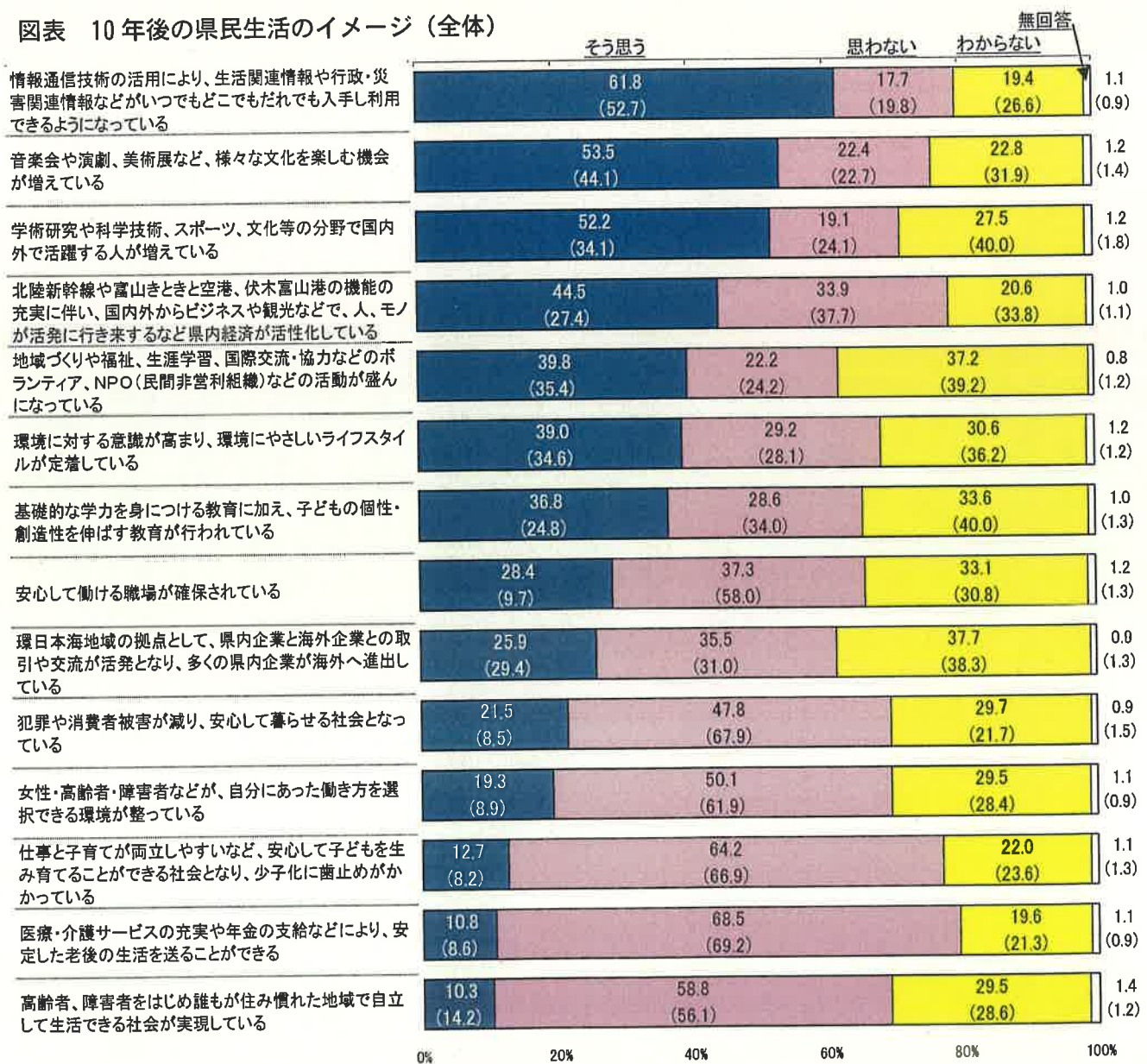
【1 意識調査】

問：10年後の県民生活のイメージについて、2026年頃の県民生活は、どのようになるとお考えですか。 ※「そう思う」、「思わない」、「わからない」から1つ選択。

・「情報化が更に進展している」「様々な文化を楽しむ機会が増加している」「学術研究や科学技術、スポーツ・文化等の分野で活躍する人が増えている」と思う人がいずれも50%を超え、情報化が更に進展するとともに、文化に親しむ機会や各分野で活躍する県民が増加していると考え人が多い。

・「誰もが住み慣れた地域で自立した生活ができる社会が実現している」「医療・介護サービスの充実や年金の支給などにより、安定した老後を送ることができる」「仕事と子育ての両立がしやすいなど、安心して子どもを生み育てることができる社会となり、少子化に歯止めがかかっている」「誰もが自分にあった働き方を選択できる環境が整っている」と思わない人がいずれも50%を超え、今後の少子高齢化の進展や社会保障などに対する不透明感や不安感等を反映。

図表 10年後の県民生活のイメージ (全体)



【Ⅱ 選好度調査】

問 次にあげる項目について、その重要度と充足度をおたずねします。

1. 重要度

重要度は、現行の総合計画の項目について、どの程度重要であるかという「重要である度合い」について、「きわめて重要である」から「全く重要でない」までの5段階で尋ねたもの。

【調査結果】

ア. 重要度が高い項目

「子どもの健全な育成」が最も高く、次いで「家庭・地域・職場における子育て支援」、「子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進」となるなど、子育て・教育の領域が上位1～3位までを占めている。また、健康・福祉に関する項目も、「医療提供体制の充実」が4位、「地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成」が6位と高くなっている。

図表 重要度が高い項目（上位10項目）

| 順位 | 区分 | 領域 | 項目 | 今回得点 | 参考:H22調査 | |
|----|------|--------|-------------------------------|------|----------|------|
| | | | | | 前回得点 | 前回順位 |
| 1 | 未来 | 子育て・教育 | 25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成 | 4.47 | 4.08 | 13 |
| 2 | 未来 | 子育て・教育 | 24 家庭・地域・職場における子育て支援 | 4.46 | 4.34 | 4 |
| 3 | 未来 | 子育て・教育 | 27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進 | 4.36 | 4.18 | 8 |
| 4 | 安心 | 健康・福祉 | 44 医療提供体制の充実 | 4.33 | 4.38 | 1 |
| 5 | 未来 | 子育て・教育 | 26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進 | 4.33 | 4.18 | 8 |
| 6 | 安心 | 健康・福祉 | 43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成 | 4.27 | 4.12 | 12 |
| 7 | 人づくり | | 63 子ども | 4.24 | — | — |
| 8 | 活力 | 産業 | 1 景気対策 | 4.23 | 4.27 | 5 |
| 9 | 安心 | 健康・福祉 | 46 高齢者福祉の充実 | 4.22 | 4.13 | 11 |
| 9 | 安心 | 安全・安心 | 55 生活交通の確保 | 4.22 | 3.97 | 21 |

※重要度の得点は「重要である度合い」を得点化したもので、重要度の5段階それぞれに「きわめて重要である」=5点から「まったく重要でない」=1点までの得点を与え、項目ごとに回答者数で加重した平均得点を求め、重要度に関する人々の評価を指標化したもの。

イ. 重要度が前回(H22調査)に比べて高くなった項目

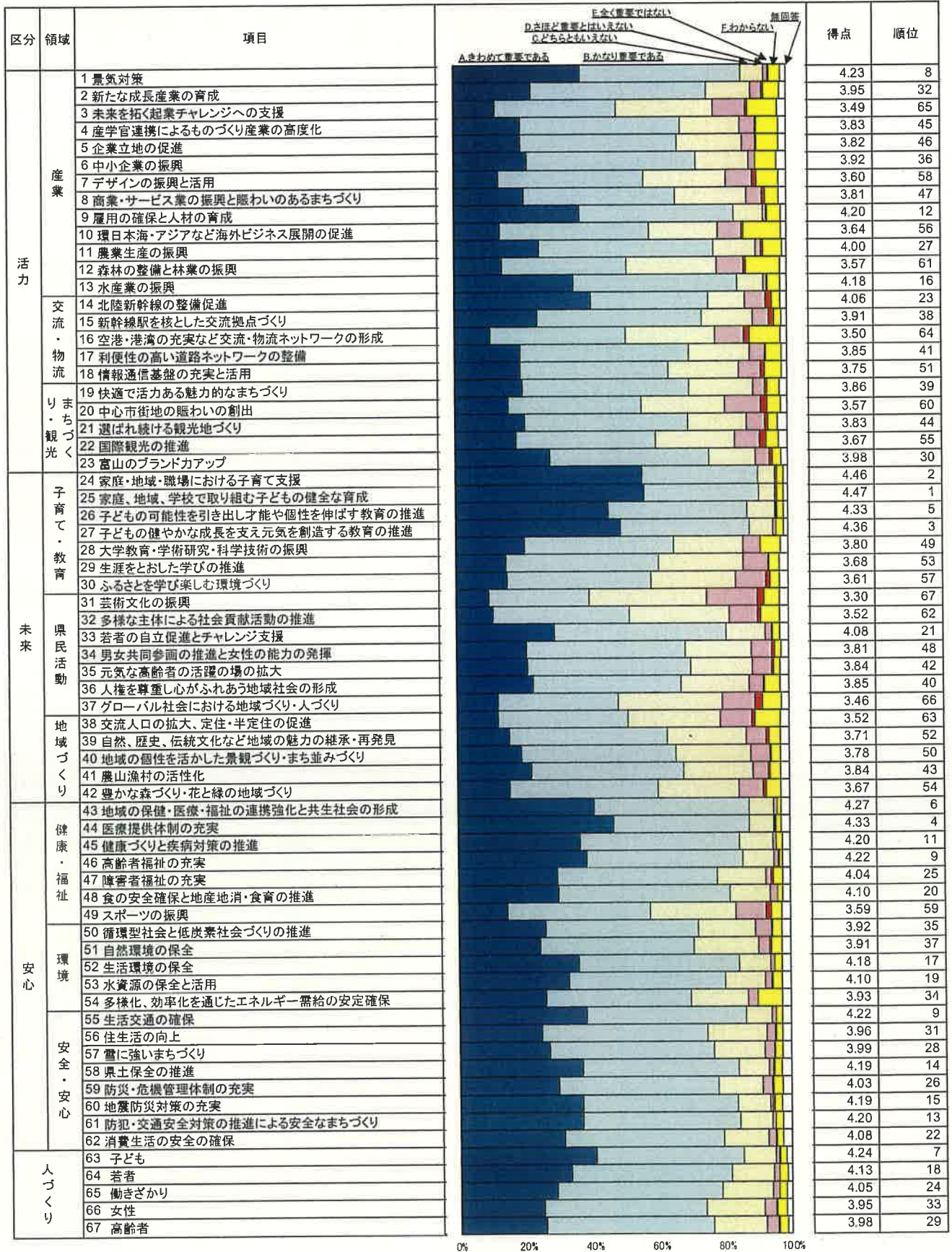
前回に比べて重要度が高くなった項目は、「新幹線駅を核とした交流拠点づくり」「北陸新幹線の整備促進」となり、新幹線に関連する項目が上位を占めた。次いで重要度が最も高い「子どもの健全な育成」や、「交流人口の拡大、定住・半定住の促進」も重要と感じる県民が多くなっている。

図表 重要度が前回に比べて高くなった項目（上位5項目）

| 区分 | 領域 | 項目 | 差 | 今回得点 | 前回得点 |
|----|--------|---------------------------|------|------|------|
| 活力 | 交流・物流 | 15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり | 0.48 | 3.91 | 3.42 |
| 活力 | 交流・物流 | 14 北陸新幹線の整備促進 | 0.40 | 4.06 | 3.66 |
| 未来 | 子育て・教育 | 25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成 | 0.38 | 4.47 | 4.08 |
| 未来 | 地域づくり | 38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進 | 0.35 | 3.52 | 3.17 |
| 安心 | 健康・福祉 | 45 健康づくりと疾病対策の推進 | 0.31 | 4.20 | 3.89 |

※前回との差を計算する際、端数処理の関係で数字にずれが生じる場合がある。

図表 項目別の重要度



2. 充足度

充足度は、現行の総合計画の項目について、どの程度充足しているかという「充足している度合い」について「十分充足されている」から「ほとんど充足されていない」までの5段階で尋ねたもの。

【調査結果】

ア. 未充足度が高い（充足度が低い）項目

未充足度は、「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」が最も高い。次いで「雇用の確保と人材の育成」、「中心市街地の賑わいの創出」、「生活交通の確保」の順などとなっており、まちの活力に関する項目が目立つ。

図表 未充足度が高い項目（上位10項目）

| 順位 | 区分 | 領域 | 項目 | 今回得点 | 参考:H22調査 | |
|----|----|-----------|---------------------------|------|----------|------|
| | | | | | 前回得点 | 前回順位 |
| 1 | 活力 | 産 業 | 8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり | 3.79 | 3.41 | 11 |
| 2 | 活力 | 産 業 | 9 雇用の確保と人材の育成 | 3.56 | 3.64 | 3 |
| 3 | 活力 | まちづくり・観光 | 20 中心市街地の賑わいの創出 | 3.52 | 3.61 | 4 |
| 4 | 安心 | 安 全 ・ 安 心 | 55 生活交通の確保 | 3.49 | 3.41 | 12 |
| 5 | 活力 | 産 業 | 12 森林の整備と林業の振興 | 3.48 | 3.15 | 42 |
| 6 | 未来 | 県 民 活 動 | 33 若者の自立促進とチャレンジ支援 | 3.43 | 3.29 | 22 |
| 7 | 活力 | まちづくり・観光 | 19 快適で活力ある魅力的なまちづくり | 3.43 | 3.67 | 2 |
| 8 | 活力 | まちづくり・観光 | 21 選ばれ続ける観光地づくり | 3.42 | 3.18 | 37 |
| 9 | 安心 | 安 全 ・ 安 心 | 59 防災・危機管理体制の充実 | 3.40 | 3.25 | 29 |
| 10 | 未来 | 県 民 活 動 | 34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮 | 3.39 | 3.22 | 34 |

※充足度得点は「充足されている度合い」を得点化したもので、充足度の5段階それぞれに「十分充足されている」=5点から「ほとんど充足されていない」=1点までの得点を与え、項目ごとに回答者数で加重した平均得点を求め、充足度に関する人々の評価を指標化したもの。未充足度得点は、6-充足度得点として算出し、得点が高いほど、充足されていない項目であると考えられる。

イ. 未充足度が前回(H22調査)に比べて高くなった項目

前回に比べて最も未充足度が高くなった項目は、「商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり」であった。また、「森林の整備と林業の振興」「農業生産の振興」については、担い手の不足などが影響しているものと考えられる。

図表 未充足度が前回に比べて高くなった項目（上位5項目）

| 区分 | 領域 | 項目 | 差 | 今回得点 | 前回得点 |
|----|-----------|---------------------------|------|------|------|
| 活力 | 産 業 | 8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり | 0.38 | 3.79 | 3.41 |
| 活力 | 産 業 | 12 森林の整備と林業の振興 | 0.33 | 3.48 | 3.15 |
| 活力 | 産 業 | 11 農業生産の振興 | 0.31 | 3.26 | 2.94 |
| 安心 | 安 全 ・ 安 心 | 56 住生活の向上 | 0.28 | 3.35 | 3.07 |
| 活力 | まちづくり・観光 | 21 選ばれ続ける観光地づくり | 0.23 | 3.42 | 3.18 |

前回との差を計算する際、端数処理の関係で数字にずれが生じる場合がある。

図表 項目別の未充足度

| 区分 | 領域 | 項目 | 未充足度 | | | | | 得点 | 順位 | | |
|-----------------------------|----------------------------|-------------------------------|----------------------|--------------|-------------|---------------|----------------|---------|------|------|----|
| | | | A.十分充足されている | B.かなり充足されている | C.どちらともいえない | D.あまり充足されていない | E.ほとんど充足されていない | F.わからない | 無回答 | | |
| 活 力 | 産 業 | 1 景気対策 | 100% | 0% | 0% | 0% | 0% | 0% | 3.31 | 21 | |
| | | 2 新たな成長産業の育成 | 80% | 10% | 10% | 0% | 0% | 0% | 2.94 | 64 | |
| | | 3 未来を拓く起業チャレンジへの支援 | 70% | 20% | 10% | 0% | 0% | 0% | 3.34 | 19 | |
| | | 4 産学官連携によるものづくり産業の高度化 | 60% | 30% | 10% | 0% | 0% | 0% | 3.05 | 60 | |
| | | 5 企業立地の促進 | 50% | 40% | 10% | 0% | 0% | 0% | 3.25 | 30 | |
| | | 6 中小企業の振興 | 40% | 50% | 10% | 0% | 0% | 0% | 3.30 | 22 | |
| | | 7 デザインの振興と活用 | 30% | 60% | 10% | 0% | 0% | 0% | 3.23 | 38 | |
| | | 8 商業・サービス業の振興と賑わいのあるまちづくり | 20% | 70% | 10% | 0% | 0% | 0% | 3.79 | 1 | |
| | | 9 雇用の確保と人材の育成 | 10% | 80% | 10% | 0% | 0% | 0% | 3.56 | 2 | |
| | | 10 環日本海・アジアなど海外ビジネス展開の促進 | 10% | 70% | 20% | 0% | 0% | 0% | 3.21 | 42 | |
| | | 11 農業生産の振興 | 10% | 60% | 30% | 0% | 0% | 0% | 3.26 | 29 | |
| | | 12 森林の整備と林業の振興 | 10% | 50% | 40% | 0% | 0% | 0% | 3.48 | 5 | |
| | | 13 水産業の振興 | 10% | 40% | 50% | 0% | 0% | 0% | 2.63 | 67 | |
| | 交 流 ・ 物 流 | 14 北陸新幹線の整備促進 | 10% | 70% | 20% | 0% | 0% | 0% | 3.22 | 41 | |
| | | 15 新幹線駅を核とした交流拠点づくり | 10% | 60% | 30% | 0% | 0% | 0% | 3.31 | 20 | |
| | | 16 空港・港湾の充実など交流・物流ネットワークの形成 | 10% | 50% | 40% | 0% | 0% | 0% | 3.30 | 22 | |
| | | 17 利便性の高い道路ネットワークの整備 | 10% | 40% | 50% | 0% | 0% | 0% | 2.96 | 63 | |
| | | 18 情報通信基盤の充実と活用 | 10% | 30% | 60% | 0% | 0% | 0% | 3.01 | 61 | |
| | | り・ま ち づ っ く | 19 快適で活力ある魅力的なまちづくり | 10% | 20% | 70% | 0% | 0% | 0% | 3.43 | 7 |
| | | | 20 中心市街地の賑わいの創出 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.52 | 3 |
| | | | 21 選ばれ続ける観光地づくり | 10% | 10% | 70% | 0% | 0% | 0% | 3.42 | 8 |
| | | | 22 国際観光の推進 | 10% | 10% | 70% | 0% | 0% | 0% | 3.25 | 34 |
| | | | 23 富山のブランドカアップ | 10% | 10% | 70% | 0% | 0% | 0% | 3.08 | 55 |
| 未 来 | 子 育 て ・ 教 育 | 24 家庭・地域・職場における子育て支援 | 10% | 70% | 20% | 0% | 0% | 0% | 3.37 | 13 | |
| | | 25 家庭、地域、学校で取り組む子どもの健全な育成 | 10% | 60% | 30% | 0% | 0% | 0% | 3.27 | 28 | |
| | | 26 子どもの可能性を引き出し才能や個性を伸ばす教育の推進 | 10% | 50% | 40% | 0% | 0% | 0% | 3.21 | 43 | |
| | | 27 子どもの健やかな成長を支え元気を創造する教育の推進 | 10% | 40% | 50% | 0% | 0% | 0% | 3.25 | 33 | |
| | | 28 大学教育・学術研究・科学技術の振興 | 10% | 30% | 60% | 0% | 0% | 0% | 3.27 | 27 | |
| | | 29 生涯をとおした学びの推進 | 10% | 20% | 70% | 0% | 0% | 0% | 3.23 | 39 | |
| | | 30 ふるさとを学び楽しむ環境づくり | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.25 | 32 | |
| | | 県 民 活 動 | 31 芸術文化の振興 | 10% | 20% | 70% | 0% | 0% | 0% | 3.25 | 31 |
| | | | 32 多様な主体による社会貢献活動の推進 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.24 | 35 |
| | | | 33 若者の自立促進とチャレンジ支援 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.43 | 6 |
| | 34 男女共同参画の推進と女性の能力の発揮 | | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.39 | 10 | |
| | 地 域 づ っ く り | 35 元気な高齢者の活躍の場の拡大 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.30 | 24 | |
| | | 36 人権を尊重し心がふれあう地域社会の形成 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.35 | 16 | |
| | | 37 グローバル社会における地域づくり・人づくり | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.37 | 14 | |
| 38 交流人口の拡大、定住・半定住の促進 | | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.38 | 11 | | |
| 39 自然、歴史、伝統文化など地域の魅力の継承・再発見 | | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.24 | 35 | | |
| 40 地域の個性を活かした景観づくり・まち並みづくり | | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.16 | 47 | | |
| 41 農山漁村の活性化 | | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.18 | 45 | | |
| 42 豊かな森づくり・花と緑の地域づくり | | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.12 | 51 | | |
| 安 心 | 健 康 ・ 福 祉 | 43 地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.28 | 25 | |
| | | 44 医療提供体制の充実 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.10 | 53 | |
| | | 45 健康づくりと疾病対策の推進 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.09 | 54 | |
| | | 46 高齢者福祉の充実 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.15 | 49 | |
| | | 47 障害者福祉の充実 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.37 | 12 | |
| | 環 境 | 48 食の安全確保と地産地消・食育の推進 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 2.96 | 62 | |
| | | 49 スポーツの振興 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.06 | 58 | |
| | | 50 循環型社会と低炭素社会づくりの推進 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.19 | 41 | |
| | | 51 自然環境の保全 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.08 | 56 | |
| | | 52 生活環境の保全 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 2.76 | 65 | |
| 安 全 ・ 安 心 | 53 水資源の保全と活用 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 2.72 | 66 | | |
| | 54 多様化、効率化を通じたエネルギー需給の安定確保 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.06 | 57 | | |
| | 55 生活交通の確保 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.49 | 4 | | |
| | 56 住生活の向上 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.35 | 17 | | |
| | 57 雪に強いまちづくり | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.11 | 52 | | |
| | 58 県土保全の推進 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.06 | 59 | | |
| | 59 防災・危機管理体制の充実 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.40 | 9 | | |
| 人 づ っ く り | 60 地震防災対策の充実 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.24 | 37 | | |
| | 61 防犯・交通安全対策の推進による安全なまちづくり | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.18 | 46 | | |
| | 62 消費生活の安全の確保 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.16 | 48 | | |
| | 63 子ども | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.14 | 50 | | |
| | 64 若者 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.22 | 40 | | |
| | 65 働きざかり | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.28 | 25 | | |
| | 66 女性 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.36 | 15 | | |
| | 67 高齢者 | 10% | 10% | 80% | 0% | 0% | 0% | 3.35 | 17 | | |

(2) 有識者 アンケート調査

有識者アンケート調査概要

○対象

県内外の有識者(県の各審議会委員、大学教授、民間団体の長等)794人 →回答 588人(74.1%)

○結果の要点

1 今後10年間の富山県の重要施策について

(1) 10年後のイメージ

- ・「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」を合わせた肯定的な意見では、「情報通信技術の活用による生活等関連情報の利用の推進」(80.0%)、「交通基盤の充実に伴う交流の拡大による県内経済の活性化」(72.7%)、「様々な文化を楽しむ機会の増加」(61.1%)で高く、**情報化や県内経済の活性化、文化を楽しむ機会の増加が進む**と予想する人が多い。
- ・「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」を合わせた否定的な意見は、「安定した老後の生活を送ることができる」(44.5%)、「安心して子どもを産み育てることができ、少子化に歯止めがかかっている」(42.1%)で高く、**老後の安定や子育て環境の充実、少子化の進行に対する不安**がうかがえる。

(2) 富山の魅力

- ・今後10年間を通して、富山県の魅力形成に重要なことは、「恵まれた教育環境のもとで、子どもが伸び伸びと育ち、個性が生かされること」(43.5%)、「保健・医療・福祉が充実しており、健康に暮らせること」(39.6%)、「様々な働く場所があり、所得水準が高いこと」(37.2%)の順であり、**子どもの教育環境の整備や保健・医療・福祉の充実による健康な暮らし、雇用の確保と高い所得水準が重要**であると考えた人が多い。

(3) 県土づくり

- ・今後10年間を通して、富山県の県土づくり(社会資本整備)施策において重視すべき成果としては、「人口減少への対応・地域の自立、活性化」(47.3%)、「少子化、子育て支援への対応」(43.7%)、「国内外の交流の活発化」(35.4%)の順であり、**人口減少への対応や地域の活性化、少子化・子育て支援、国内外との交流への対応を重視した社会資本整備が必要**であると考えた人が多い。

(4) 重点施策

- ・各分野において県が今後10年間で重点的に推進すべき施策として最も回答が多いものは、「活力」では**雇用の確保と人材の育成**、「未来」では**元気な高齢者の活躍の場の拡大**、「安心」では**地域の保健・医療・福祉の連携強化と共生社会の形成**、「行財政改革の推進」では**オープンで分かりやすい県政**、「人づくり」では**将来を担う子どもの基礎づくり**となっている。

2 分野ごとの課題や施策の方向性

<活力>

【新規成長産業】

成長が期待される産業分野のうち「医薬・バイオテクノロジー(抗体医薬品、核酸医薬品)」と「健康・福祉(医薬工連携、介護福祉機器、スポーツ等)」については、9割以上の方が力を入れるべきとしている。

【新技術・新産業の創出】

「企業、大学、試験研究機関等の連携による研究開発の促進」が重要と考える人が最も多い。

【商業・サービス業施策】

「コミュニティビジネスの支援(子育て支援、買い物支援サービス、地域おこしなど)」が重要と考える人が最も多い。

【若者の定着・流入】

「若者の能力が発揮できる職場の確保」が重要と考える人が最も多い。

【観光産業施策】

「観光マーケティング等に基づく官民一体となった戦略的な観光地域づくりの促進」、「多様化する観光ニーズに対応できる人材や地域の観光を担う人材の育成」、「新幹線駅・空港等と観光地を結ぶ二次交通の整備や利便性の向上」が重要と考える人が多い。

【農林水産業施策】

「将来の農林水産業を支える担い手の育成確保」が重要と考える人が最も多い。

【情報化】

情報通信技術への期待では、「情報ネットワークによる防災・緊急情報の提供」に対する期待が最も高い。

<未来>

【少子化対策】

「労働時間短縮や育児休業制度、再就職支援の充実など、仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備」が重要と考える人が最も多い。

【児童の健全育成】

「子ども同士で遊ぶ機会や自然とのふれあいの機会の確保」が重要と考える人が最も多い。

【学校・家庭・地域での教育】

義務教育では「必要な基礎学力」、高校教育では「自ら考える力や探究力、課題解決能力」、家庭では「基本的な生活習慣」、地域では「ふるさとへの誇りや愛着」を身につける事が重要と考える人が最も多い。

【男女共同参画の推進】

男女共同参画社会の実現が十分に達成されていない理由として、「社会全般に男性優位の考え方や慣行が根強いこと」と考える人が最も多い。

【地域の中での協働の推進】

行政、ボランティア・NPOなどが協働して社会づくりを進めるためには、「県民のボランティア・NPO活動に対する理解促進」が必要と考える人が最も多い。

【国際交流・国際協力】

「優れた技術を有するボランティア派遣や海外研修員・留学生の受入などの促進」が重要と考える人が最も多い。

【スポーツ振興】

「総合型地域スポーツクラブを核とした地域スポーツ活動の活性化」が重要と考える人が最も多い。

【農山漁村の課題】

「特産物や伝統技術、自然環境などの地域資源を活用した産業の振興」が重要と考える人が最も多い。

<安心>

【健康づくり】

「がん検診、健康診断等の充実」が重要と考える人が最も多い。

【高齢社会対策】

「在宅福祉・介護サービスの充実」が重要と考える人が最も多い。

【地域公共交通施策】

「生活交通路線の維持する施策の推進(生活路線バス運行支援等)」が重要と考える人が最も多い。

【環境問題】

「低炭素・循環型社会の構築のため、ライフスタイルを見直すなど一人ひとりの取組みの推進」が重要と考える人が最も多い。

【防災対策】

「災害に備えた避難場所の整備や物資の確保」が重要と考える人が最も多い。

【安全なまちづくり】

「高齢者を交通事故や犯罪被害から守る対策の推進」、「子どもや女性を犯罪被害から守る対策の推進」が重要と考える人が多い。

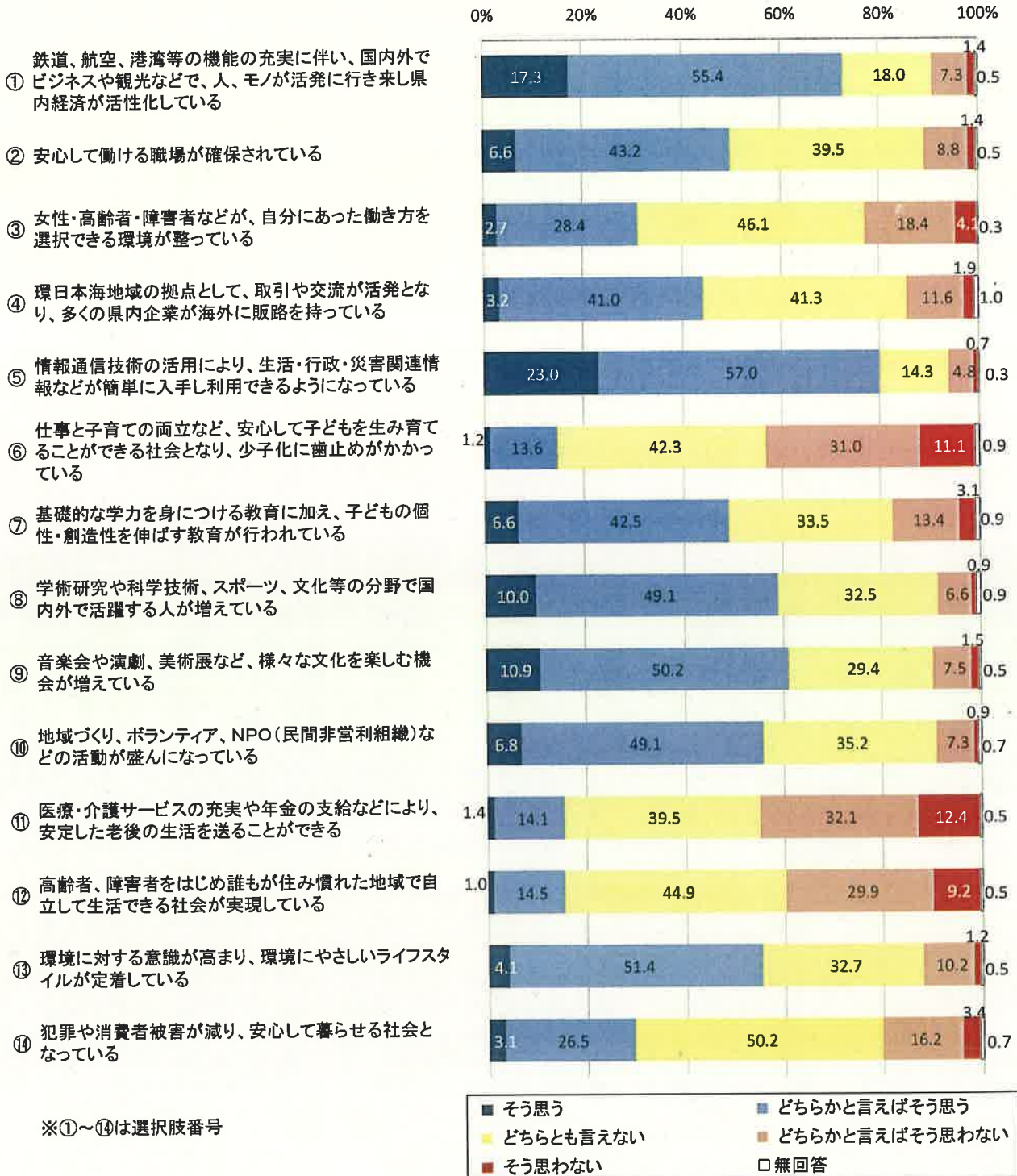
○調査結果(抜粋)

1. 今後10年間の富山県の重要施策について

【10年後のイメージ】

問 10年後の県民生活はどのようになるとお考えですか。(そう思う、思わないなど1つ選択)

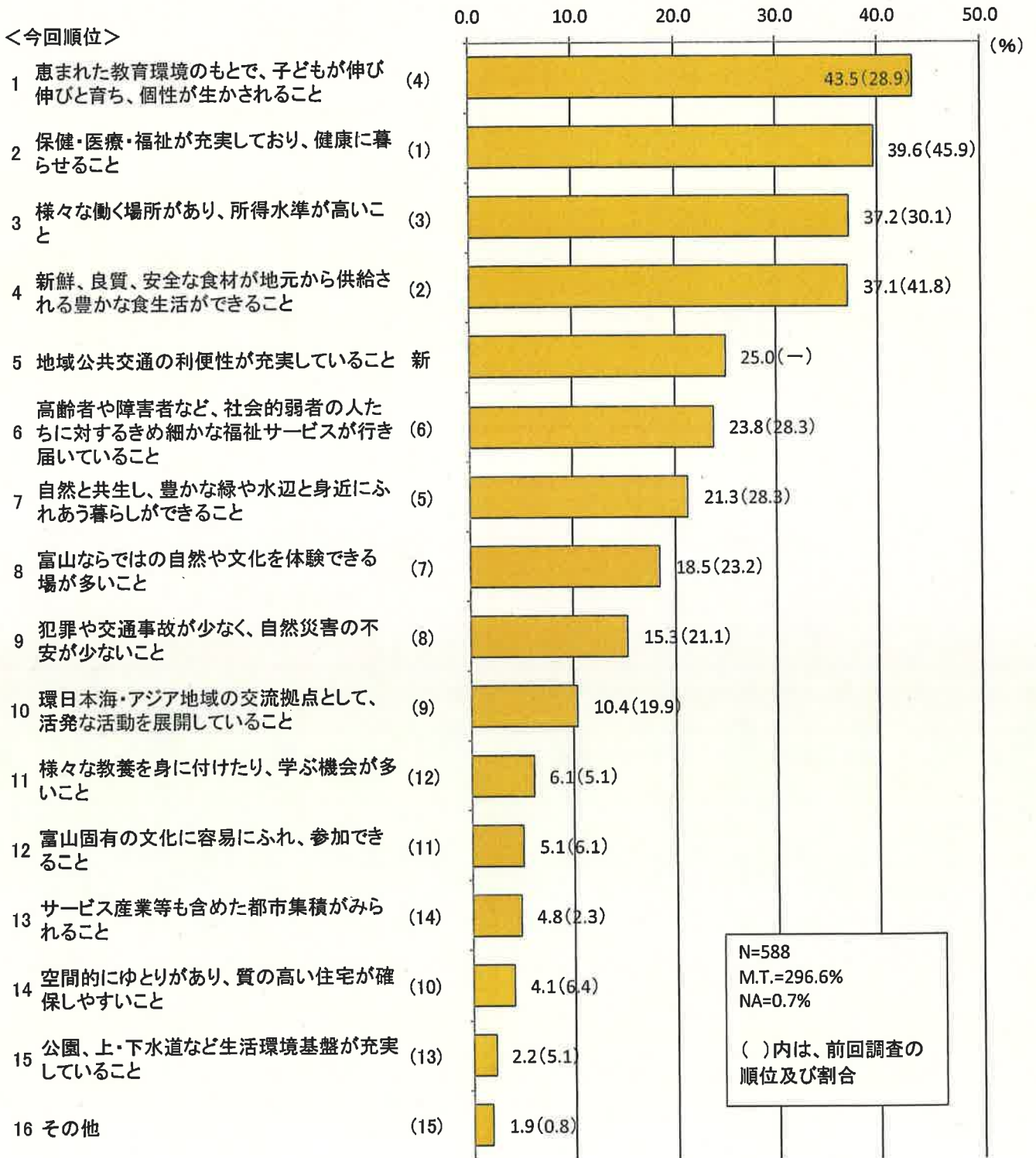
●10年後の富山県のイメージは、生活関連等へのITの利活用が一層進展し、交通インフラの充実によって県内経済が活性化しており、文化活動を楽しむ機会も増加している。



【富山の魅力】

問 富山ならではの魅力の形成として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(3つまで選択)

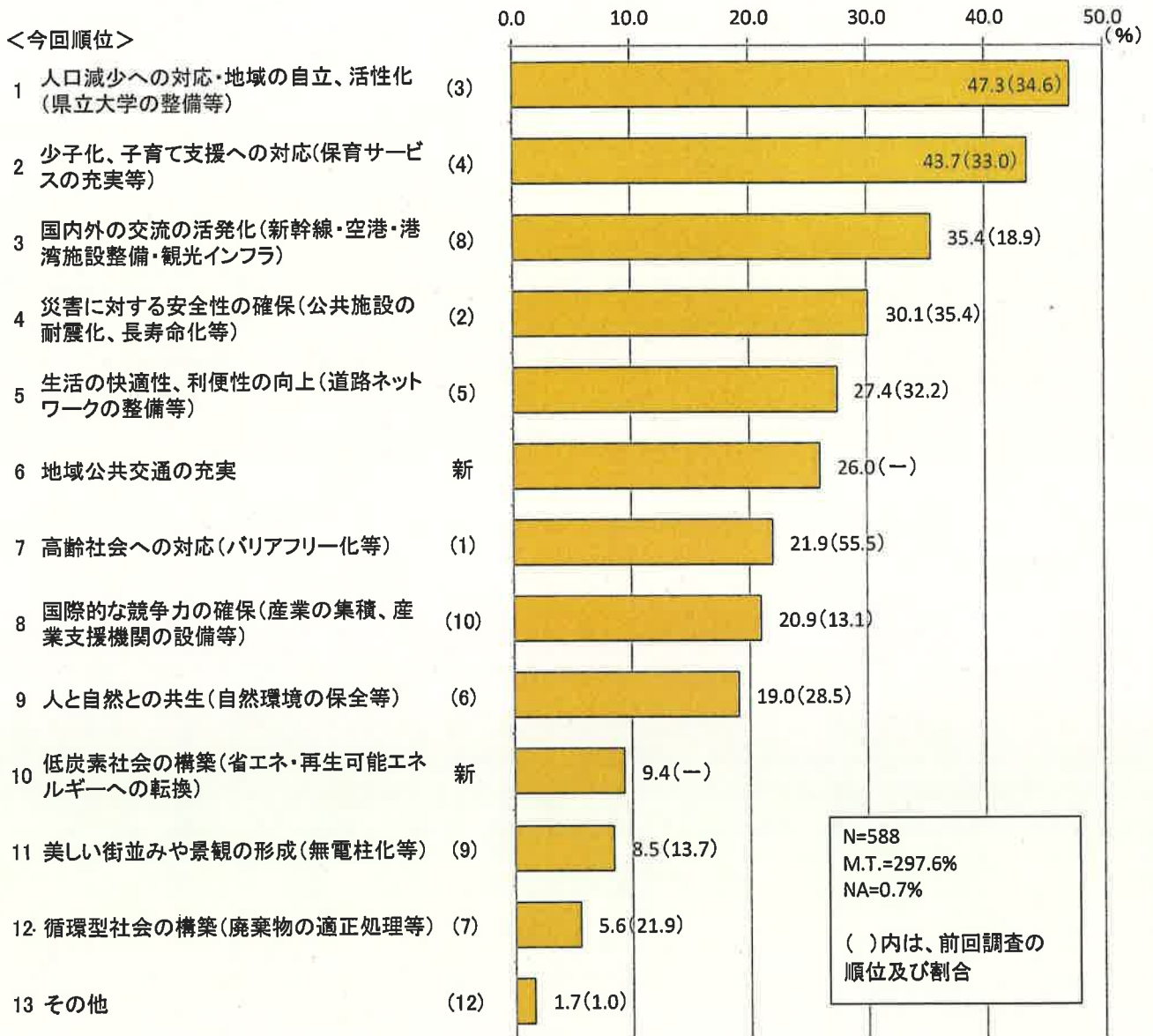
●富山の魅力形成には、子どもたちへの恵まれた教育環境、保健・医療・福祉の充実、雇用・所得の確保



【県土づくり】

問 本県の県土づくり（社会資本整備）施策として、今後10年間を通して、どのような成果を重視して整備を進めるべきとお考えですか。（3つ選択）

●県土づくりには人口減少・少子化・子育てへの対応重視を

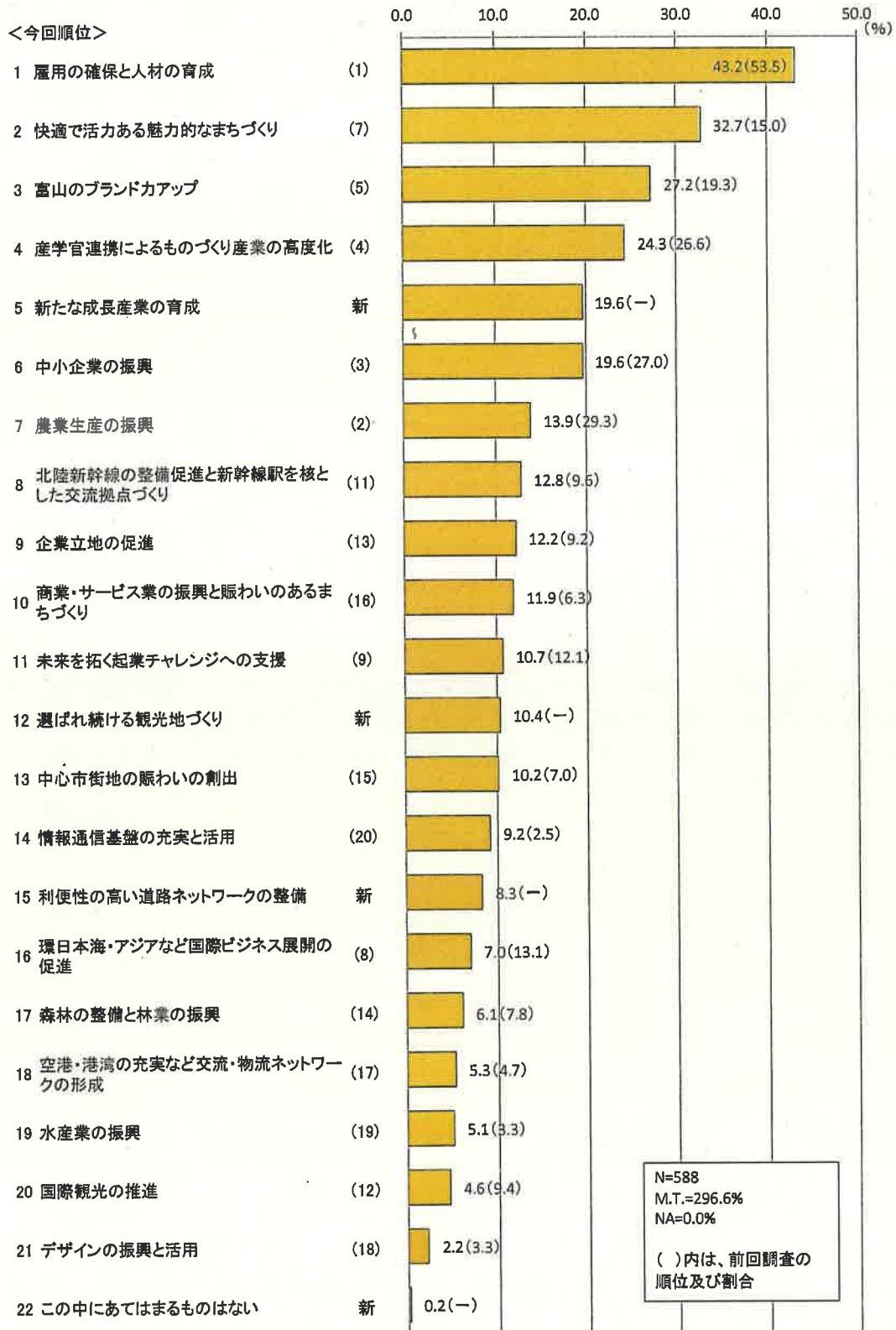


【重点施策】

問 本県が、今後10年間を通して、特に重点的に推進していくことが求められる施策は何だとお考えですか。現行計画「新・元気とやま創造計画」の柱として掲げる各施策について、あなたのお考えに近いものを選んでください。(3つまで選択)

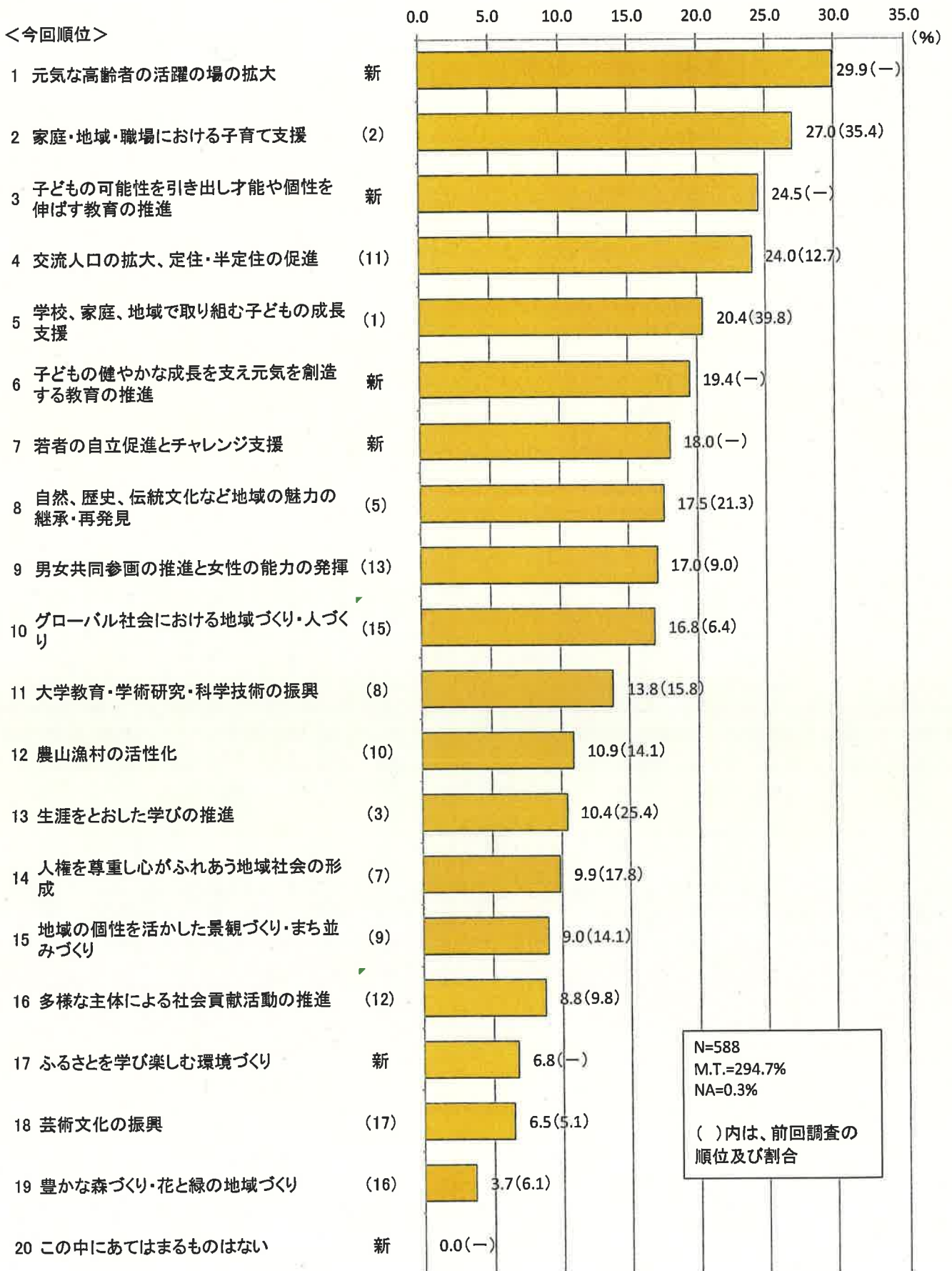
《活力》

●活力は雇用の確保と人材育成、魅力的なまちづくりで



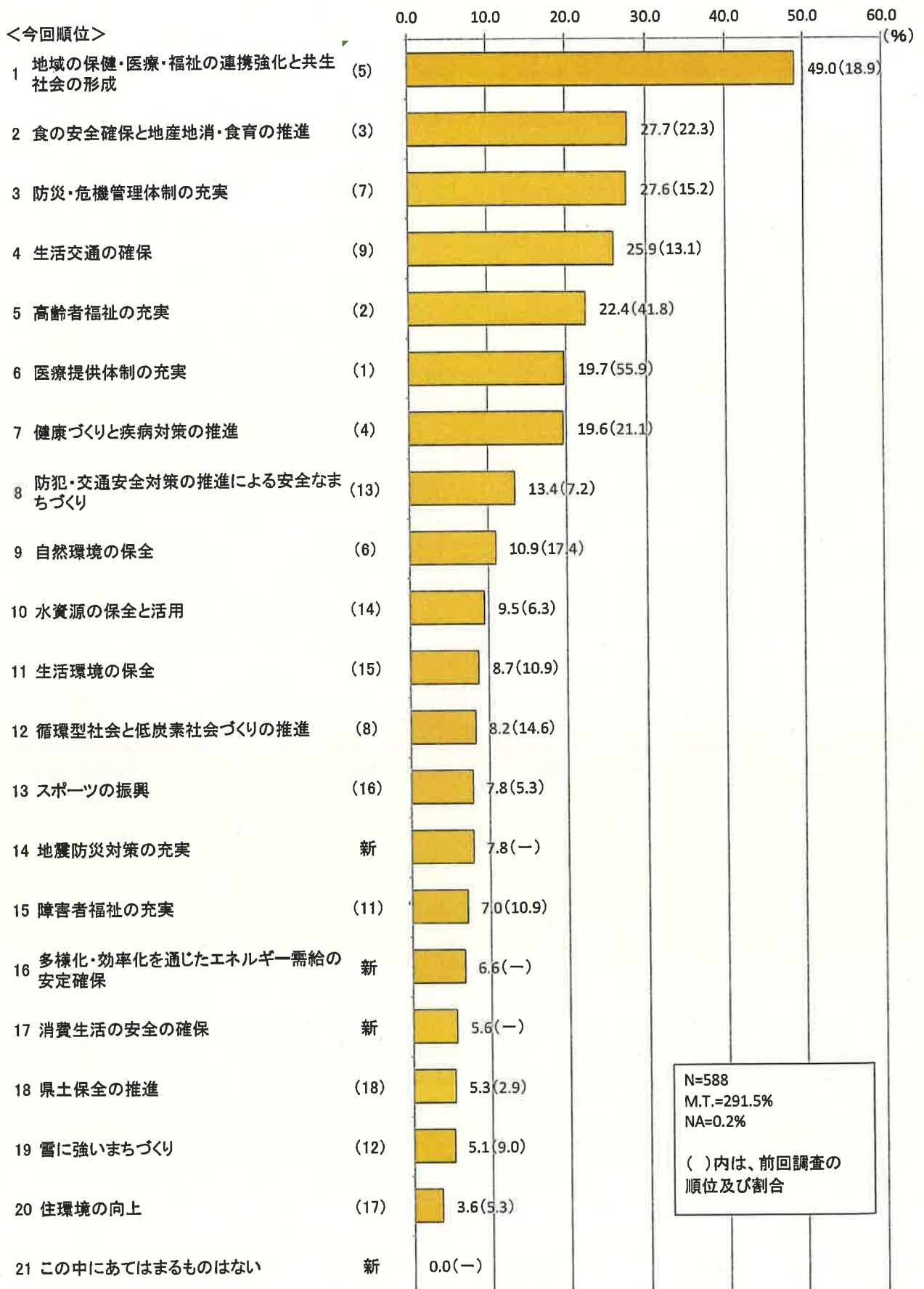
《未来》

●未来に向け「高齢者の活躍」「子育て支援」「子どもの可能性を伸ばす教育」に重点を



《安心》

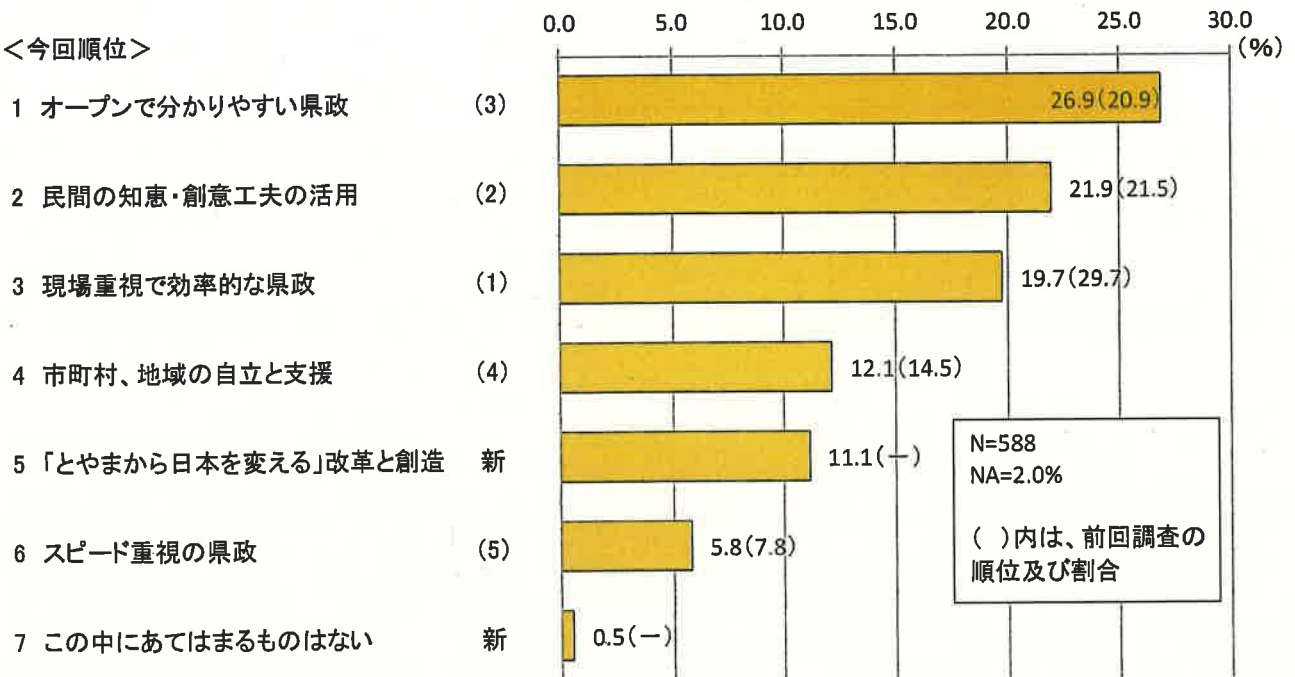
●安心な社会には「地域の保健・医療・福祉の連携強化」「食の安全確保」「防災・危機管理の充実」



《行財政改革の推進》(1つ選択)

●行財政改革では、オープンで分かりやすい県政を

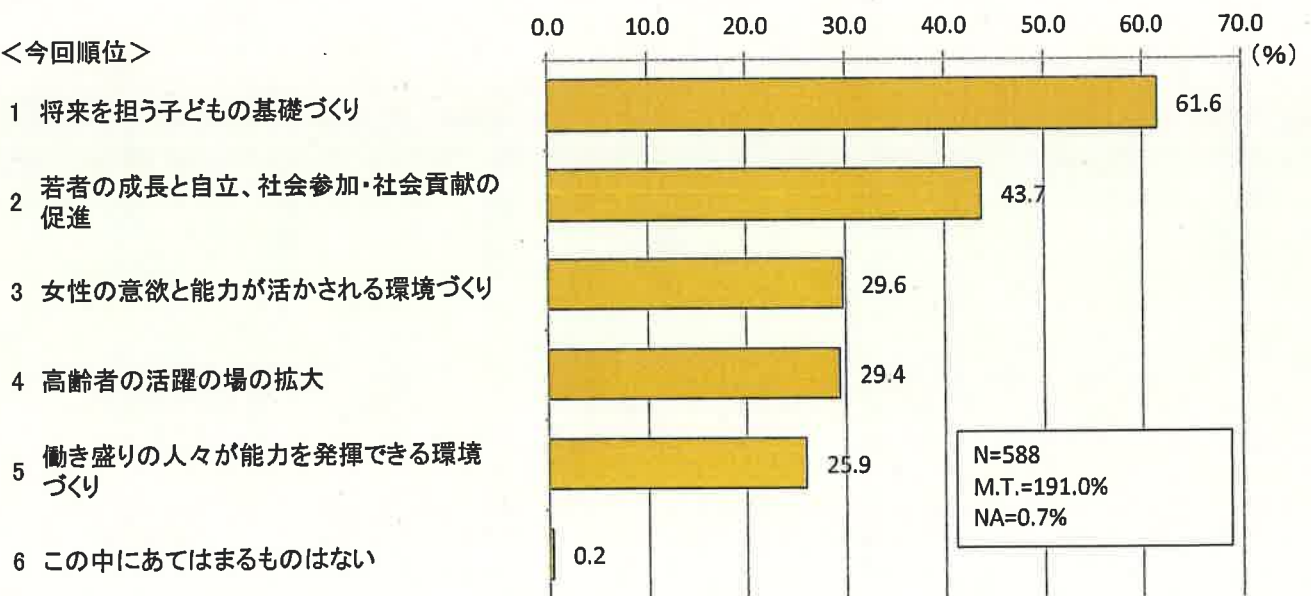
<今回順位>



《人づくり》(2つ選択)

●人づくりは子どもの基礎づくり

<今回順位>

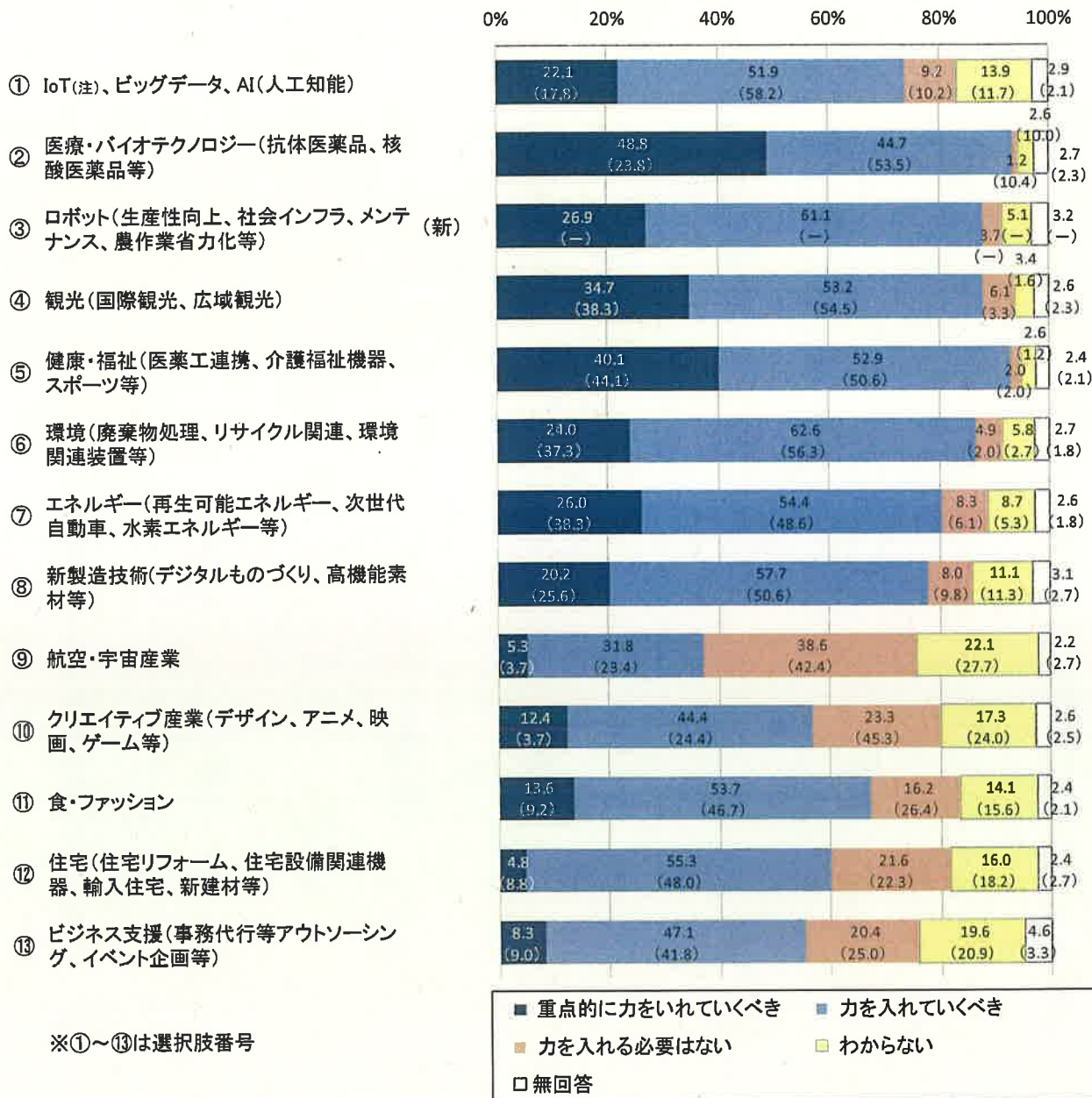


2. 分野ごとの課題や施策の方向性 (活力)

【新規成長産業】

問 成長が期待される産業分野について、本県として、今後10年間を通して、どのような分野に力をいれて取り組むべきだとお考えですか。(それぞれについて1つ選択)

●力を入れて取り組むべき産業は「医療・バイオ医薬品」「健康・福祉」「ロボット」

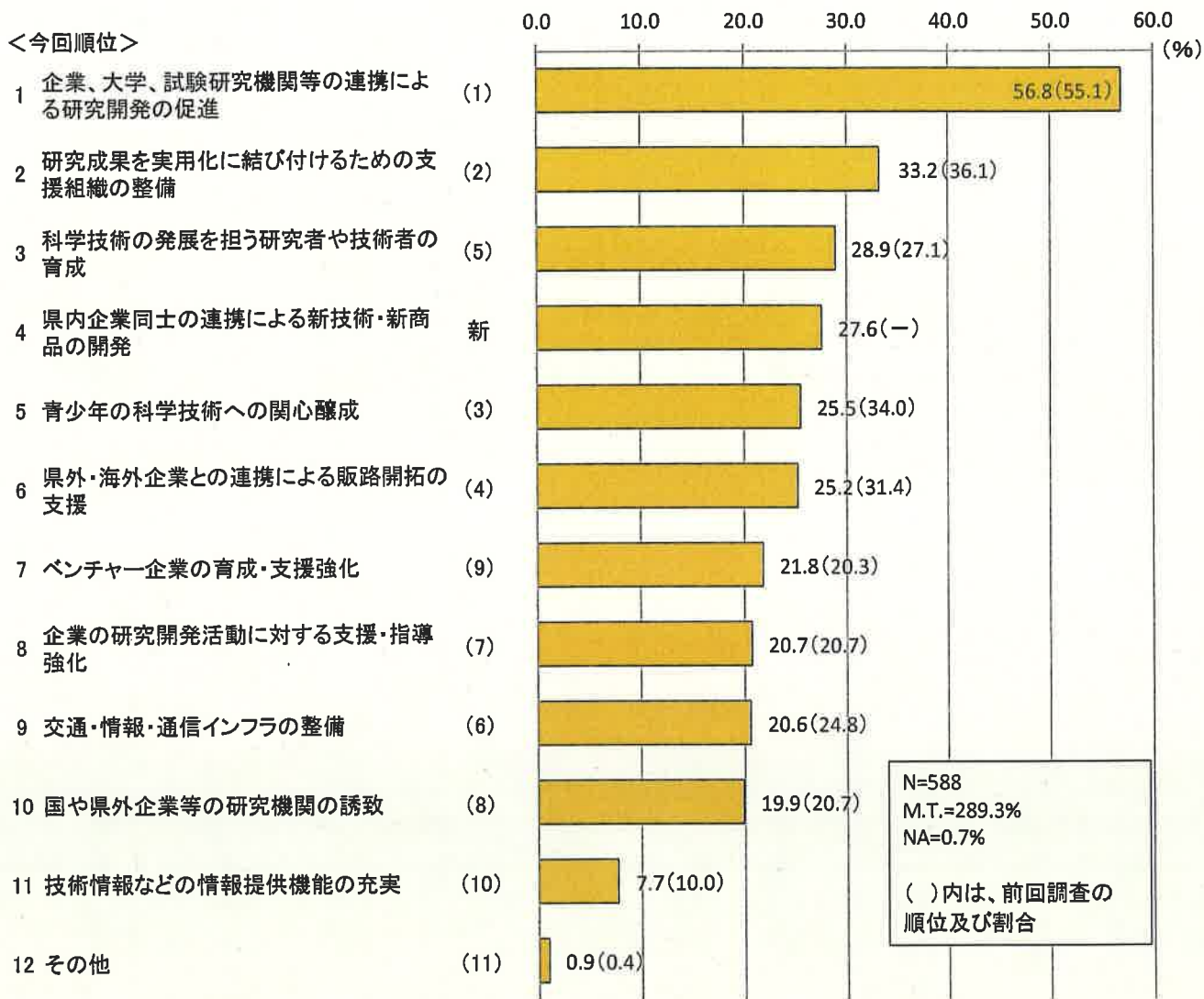


(注) IoT: Internet of Things の略で、「モノのインターネット」と呼ばれる。自動車、家電、ロボット、施設などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやり取りをすることで、モノのデータ化やそれに基づく自動化等が進展し、新たな付加価値を生み出すもの。

【新技術・新産業の創出】

問 本県の新技術・新産業の創出の施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。（3つまで選択）

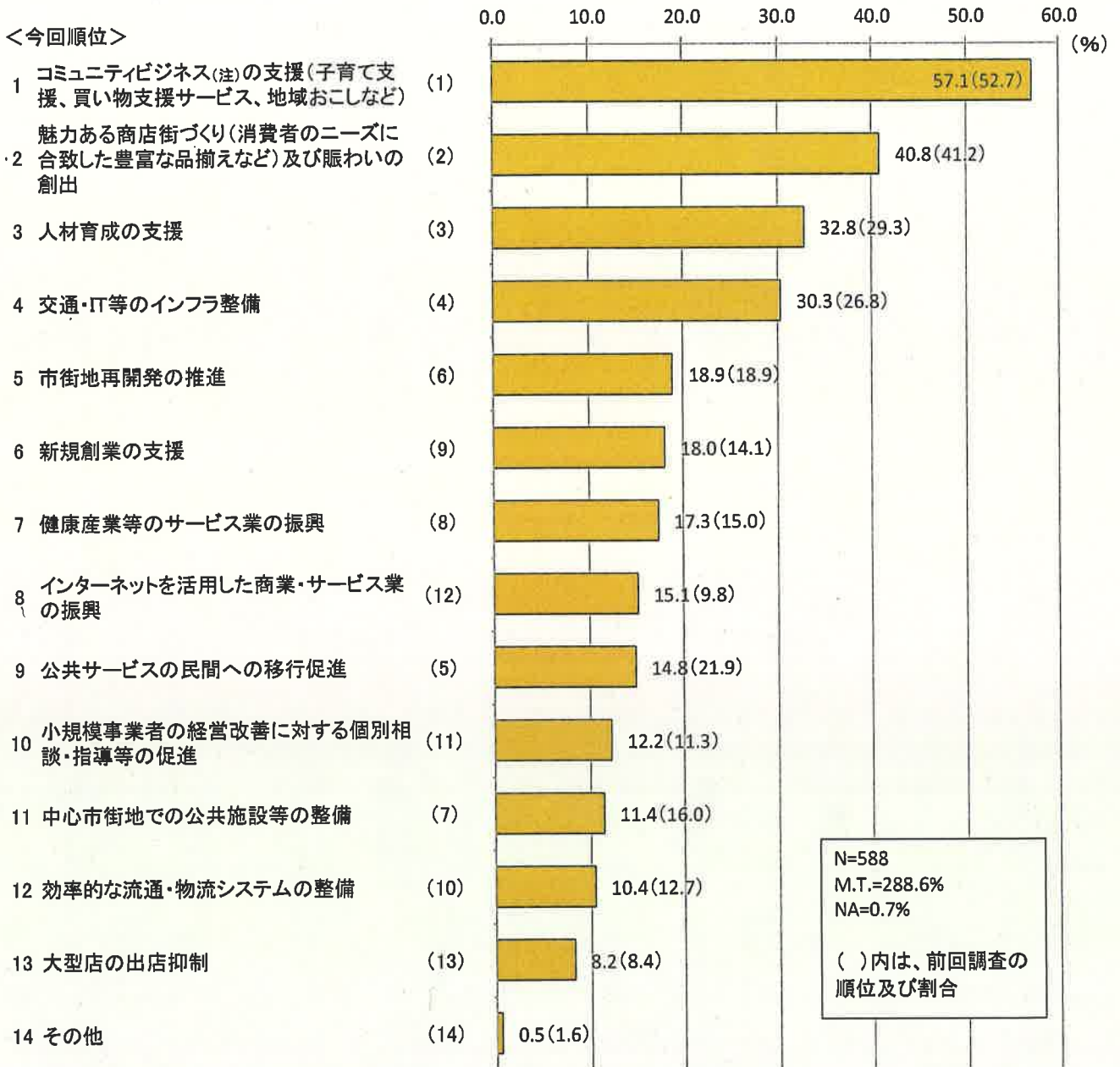
●新技術・新産業の創出は企業・大学・研究機関の連携による研究開発で



【商業・サービス業施策】

問 本県の商業・サービス業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(3つまで選択)

●商業・サービス業では地域住民主体の「コミュニティビジネスの支援」が重要

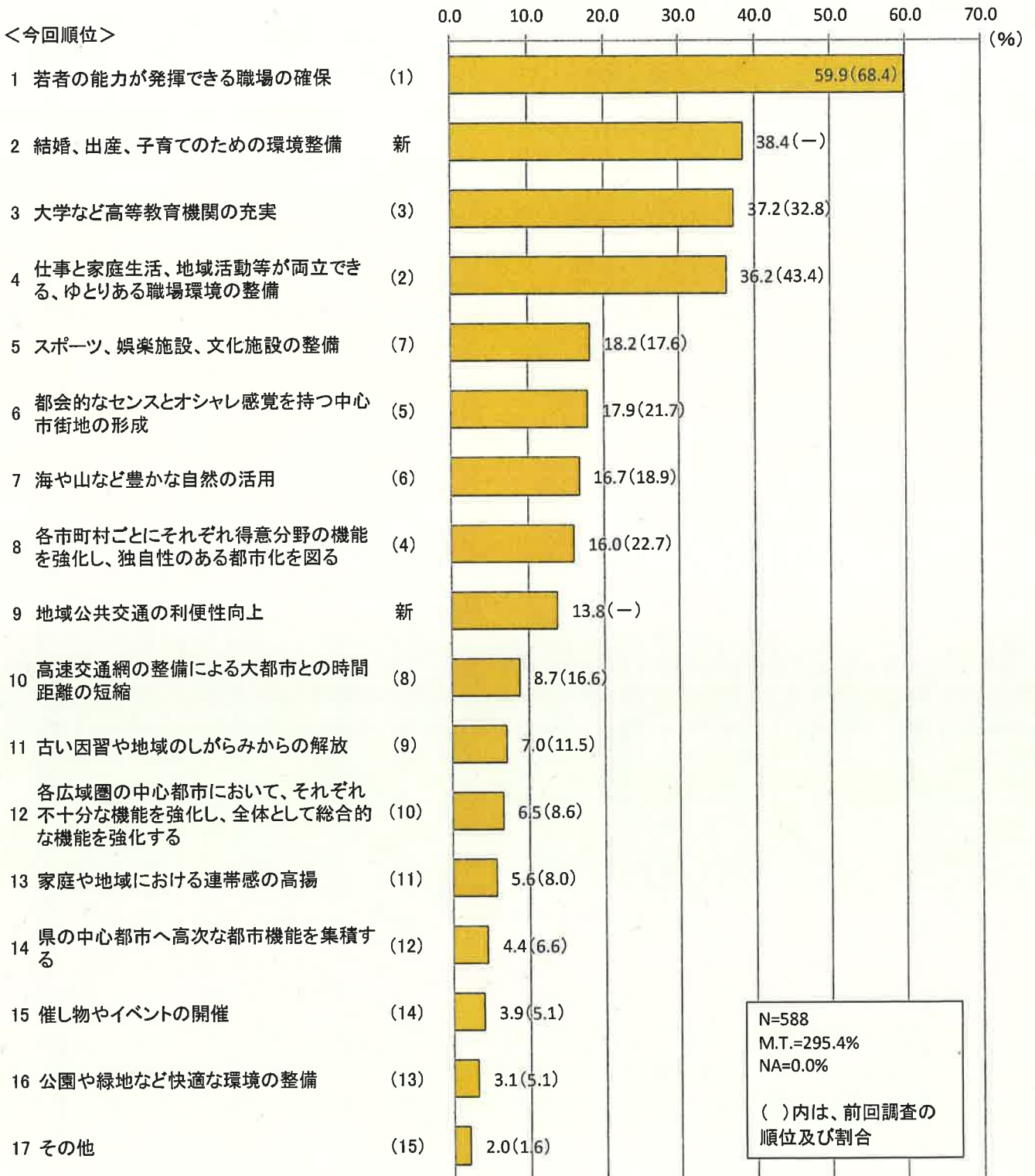


(注) コミュニティビジネス：地域住民が主体となって、地域の課題を地域資源を活かしながら、ビジネス的な手法を用いて解決する取組み

【若者の定着】

問 本県に若者が定着・流入するためには、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(3つまで選択)

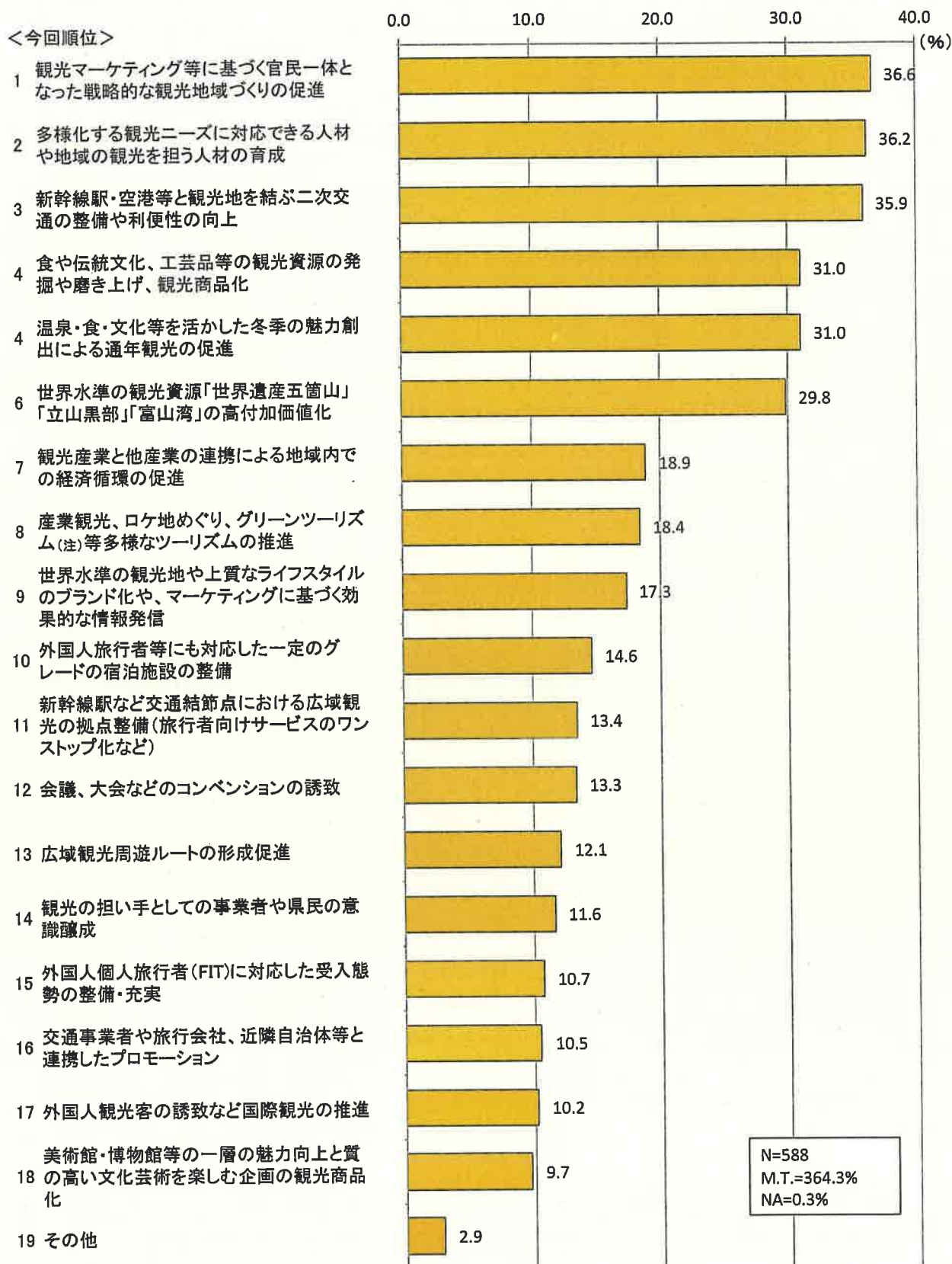
●若者の定着には「能力の発揮できる職場の確保」「結婚などの家庭環境整備」「高等教育機関の充実」



【観光産業施策】

問 本県の観光が振興するためには、今後10年間を通して特にどのようなことが重要だとお考えですか。(4つまで選択)

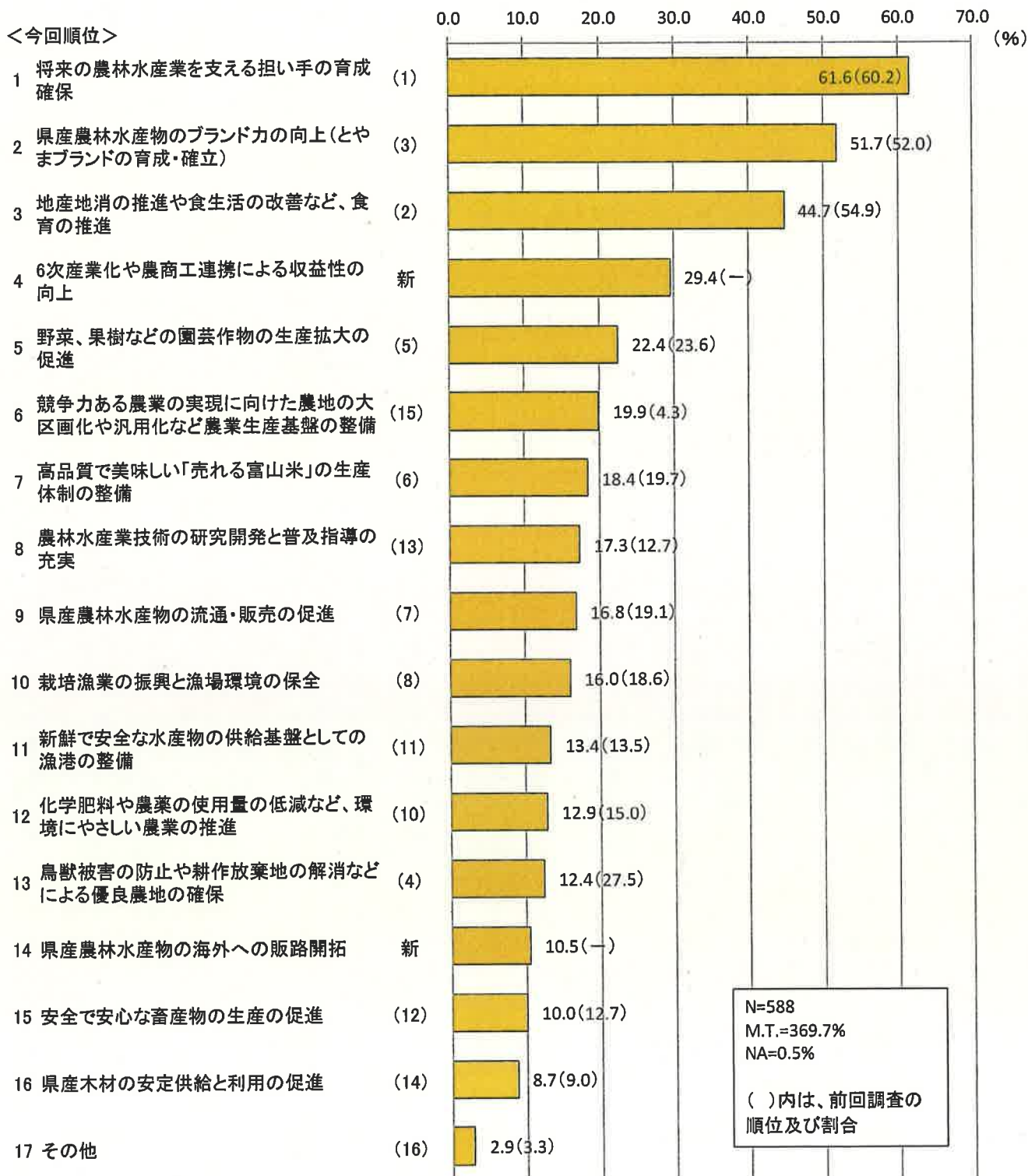
●富山の観光発展には「官民一体の戦略的観光地域づくり」「人材の育成」「二次交通の整備」が重要



【農林水産業施策】

問 本県の農林水産業施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(4つまで選択)

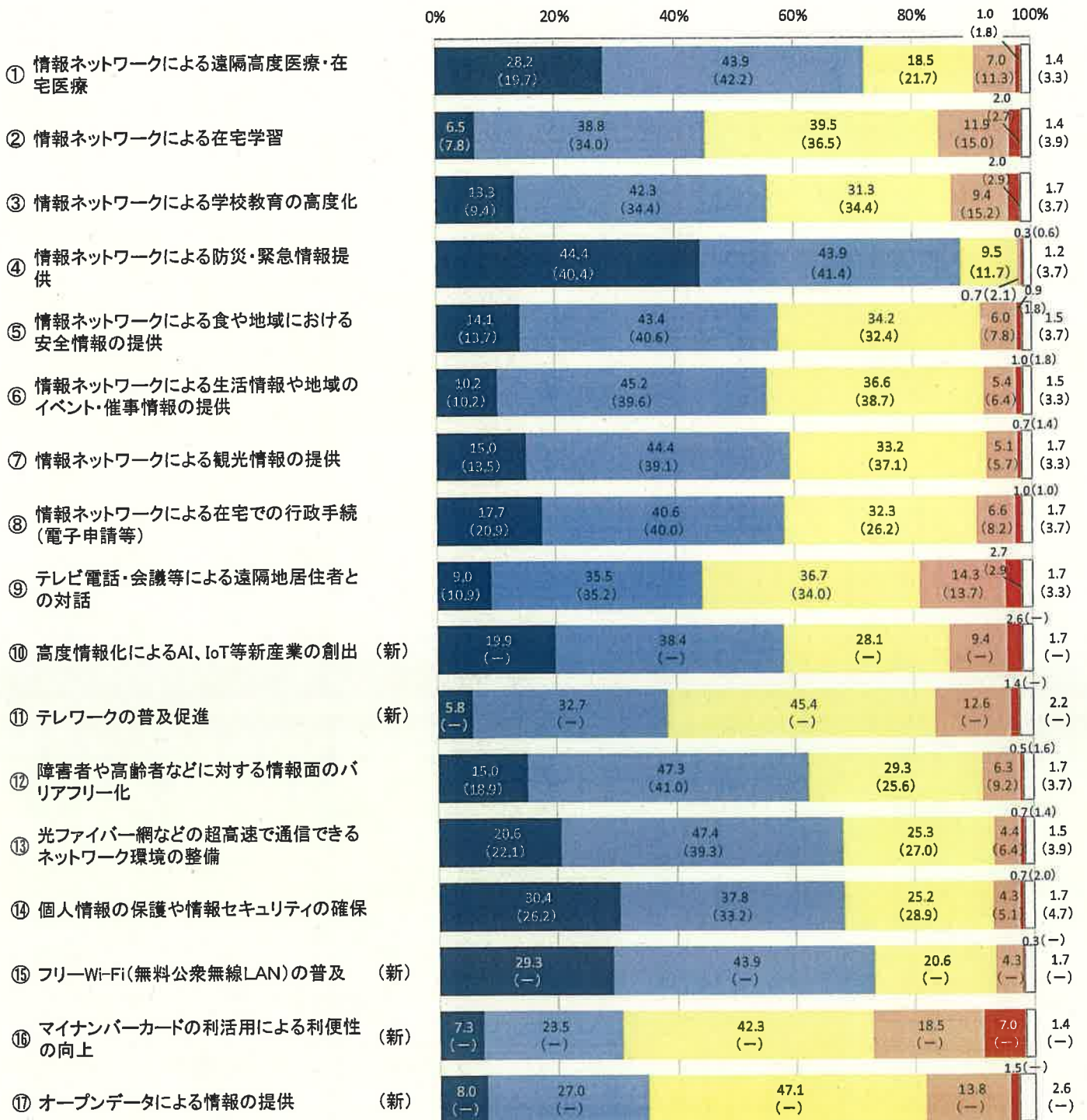
●農林水産業施策で重要なことは「担い手の育成」と「県産物のブランド力の向上」



【情報化】

問 地域社会や県民の生活における情報通信技術に対するあなたの期待度はそれぞれの程度ですか。(それぞれについて期待度合いを選択)

●情報ネットワークによる防災・緊急情報の提供に期待



※①～⑰は選択肢番号

■ 非常に期待している ■ ある程度期待している ■ 期待度は普通である
 ■ あまり期待していない ■ 期待していない □ 無回答

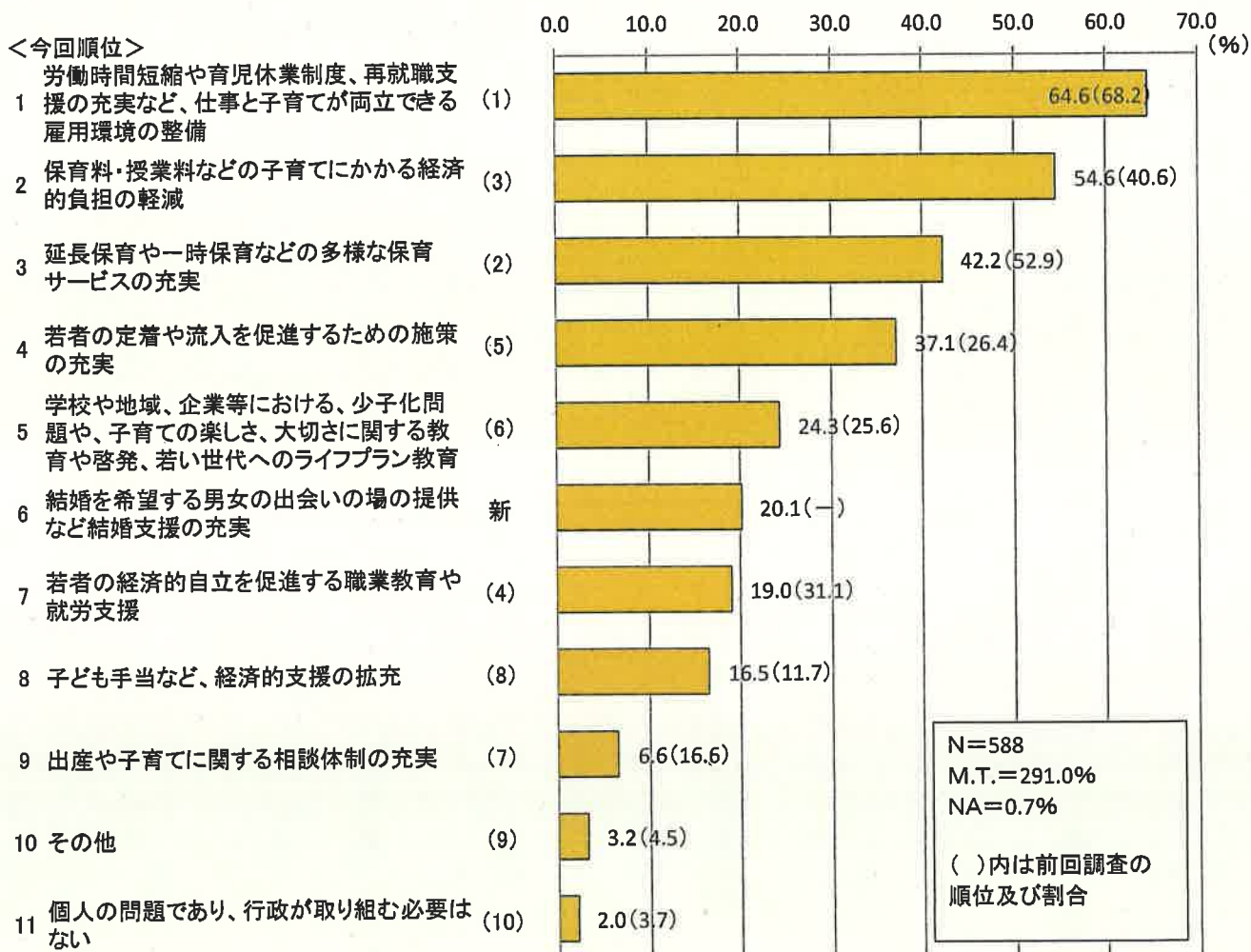
()内は前回調査の割合

分野ごとの課題や施策の方向性 (未来)

【少子化対策】

問 行政(国・県・市町村)が少子化対策に取り組むにあたって、今後10年間を通して、どのようなことが重要だとお考えですか。(3つまで選択)

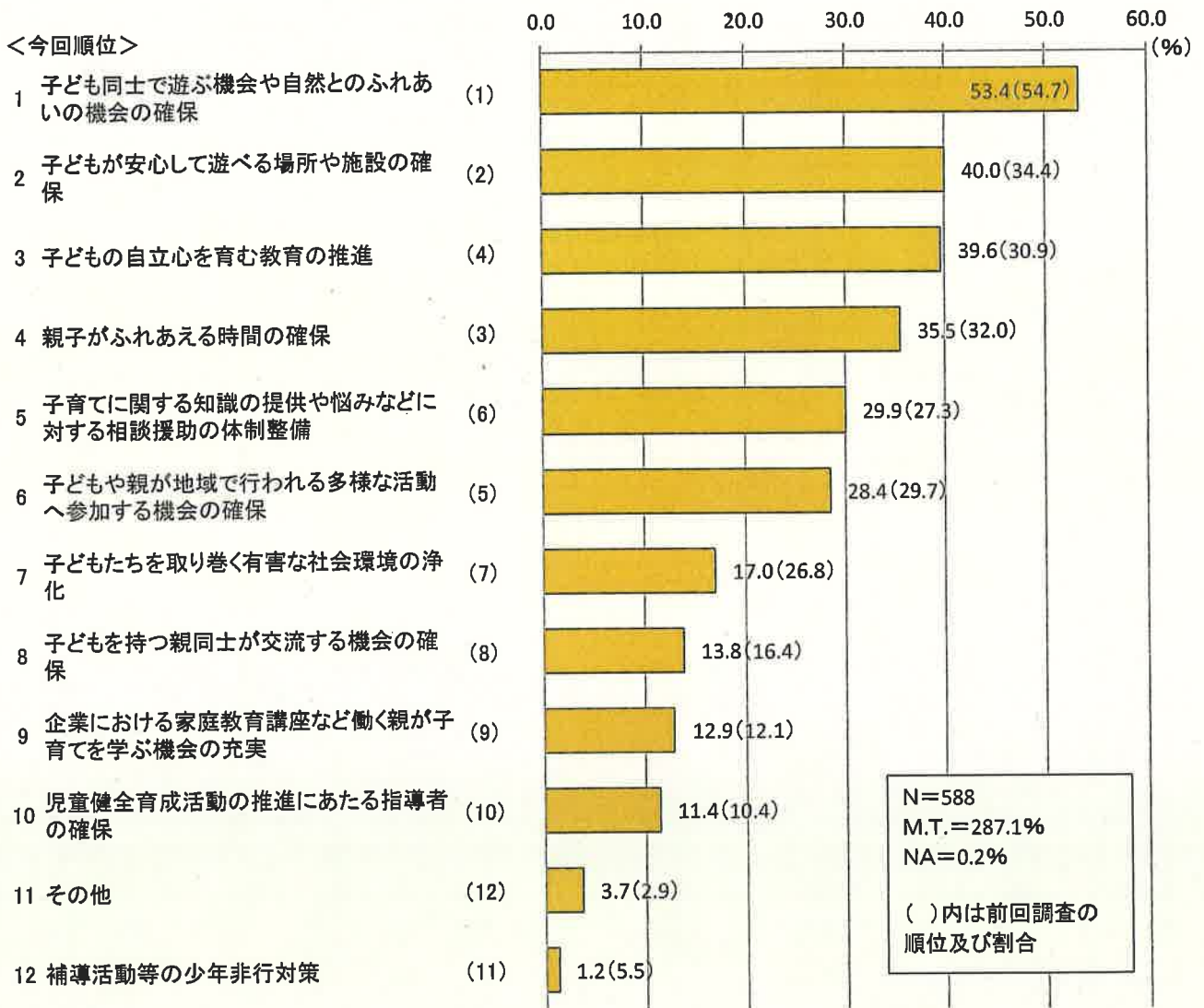
●少子化対策には仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備が重要



【児童の健全育成】

問 子どもや家庭をめぐり様々な問題が生じていますが、家庭や地域で子どもの健全な育成を図るため、今後10年間を通して、どのようなことが必要だとお考えですか。(3つまで選択)

●子ども同士で遊ぶ機会、安心して遊べる環境の確保が必要

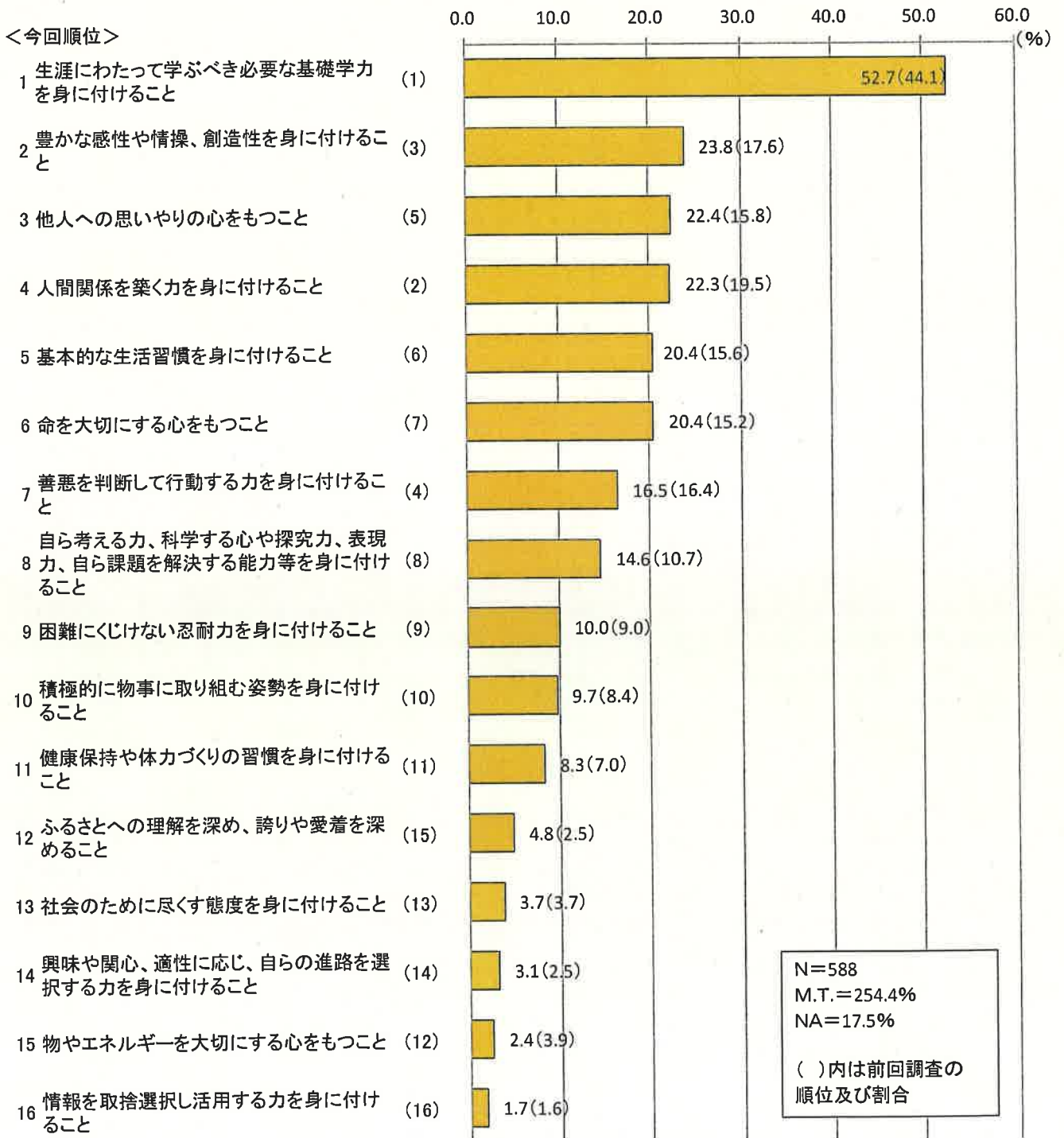


【学校・家庭・地域での教育】

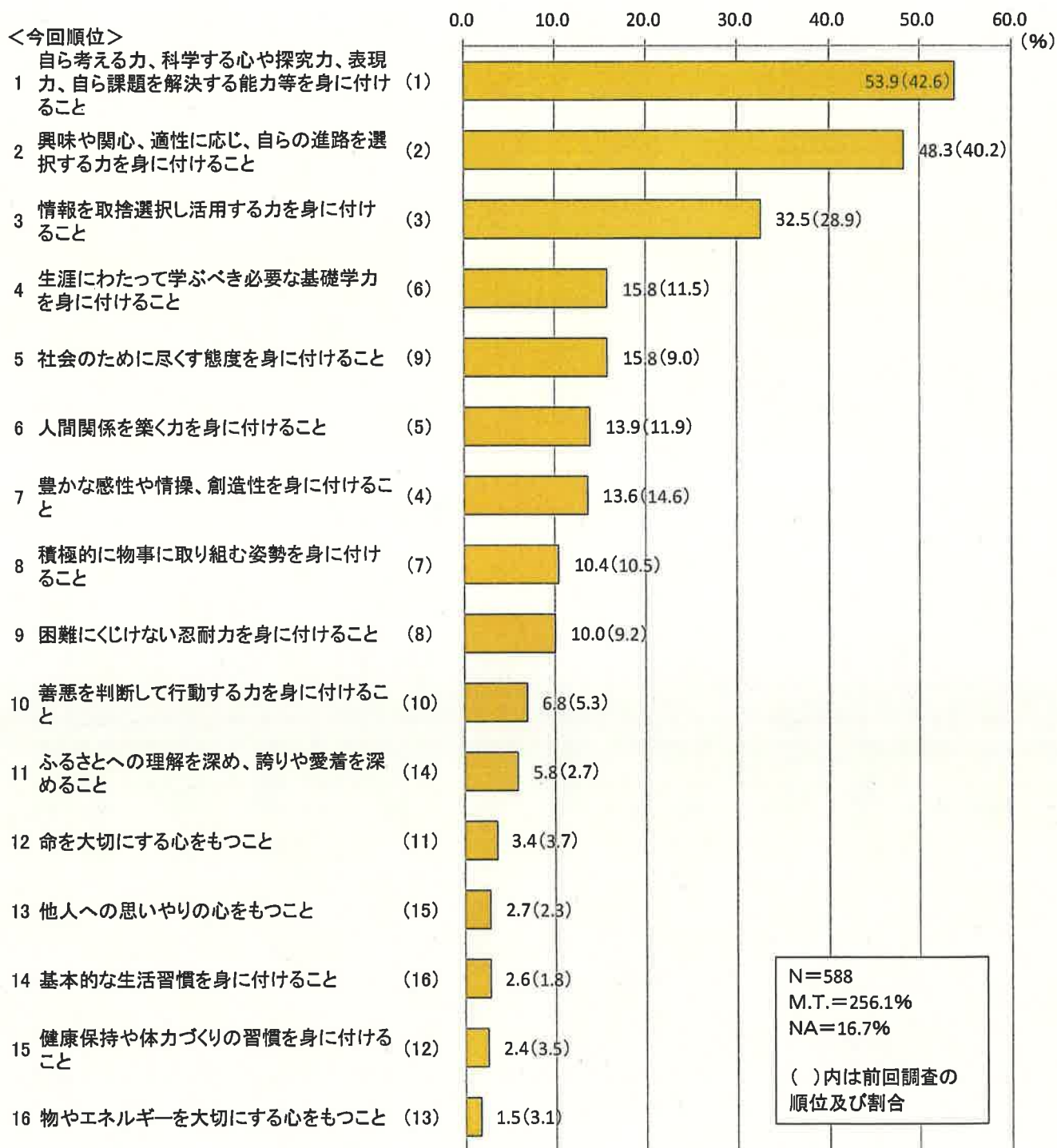
問 学校や家庭、地域では、どのようなことを身に付けることが必要だとお考えですか。
 (義務教育、高校教育、家庭、地域ごとに選択 それぞれ3つまで選択)

●義務教育では基礎学力、高校では自ら考える力・探究力・表現力・問題解決力、家庭では基本的な生活習慣、地域ではふるさとへの誇りと愛着を身に付けることが大切と、それぞれに求められる役割が異なる

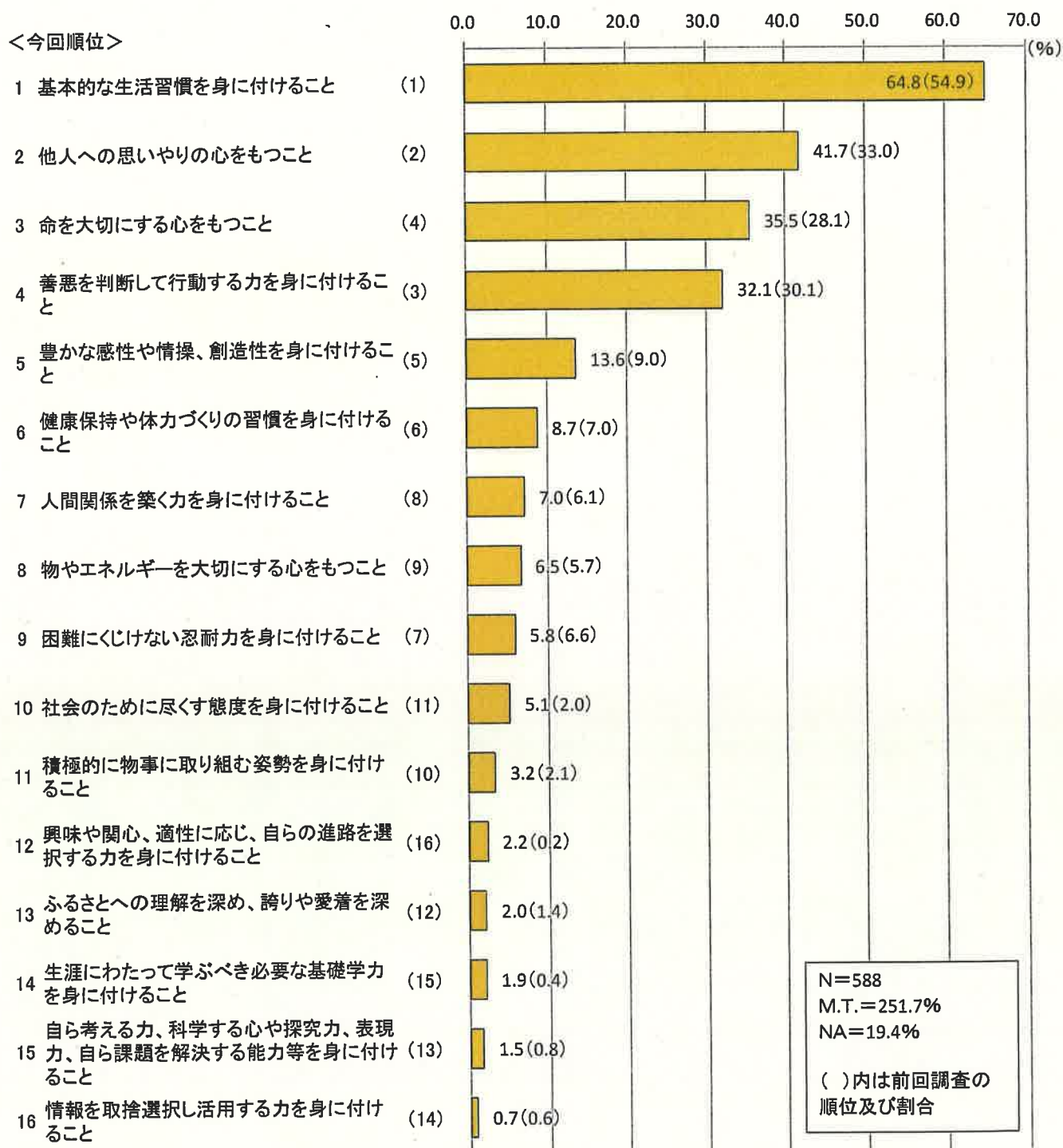
図表 「義務教育」で身に付けること



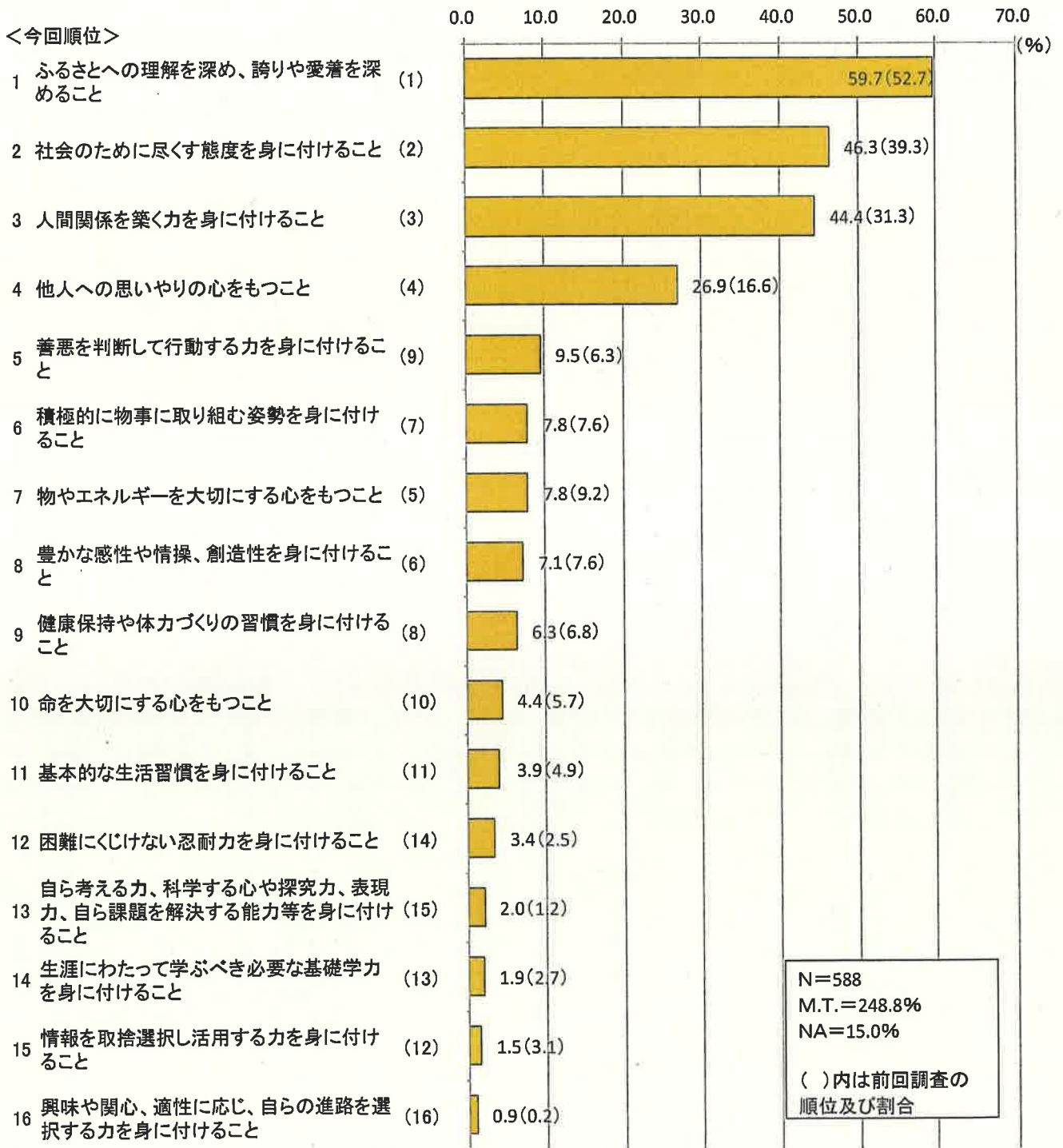
図表 「高校教育」で身に付けること



図表 「家庭」で身に付けること



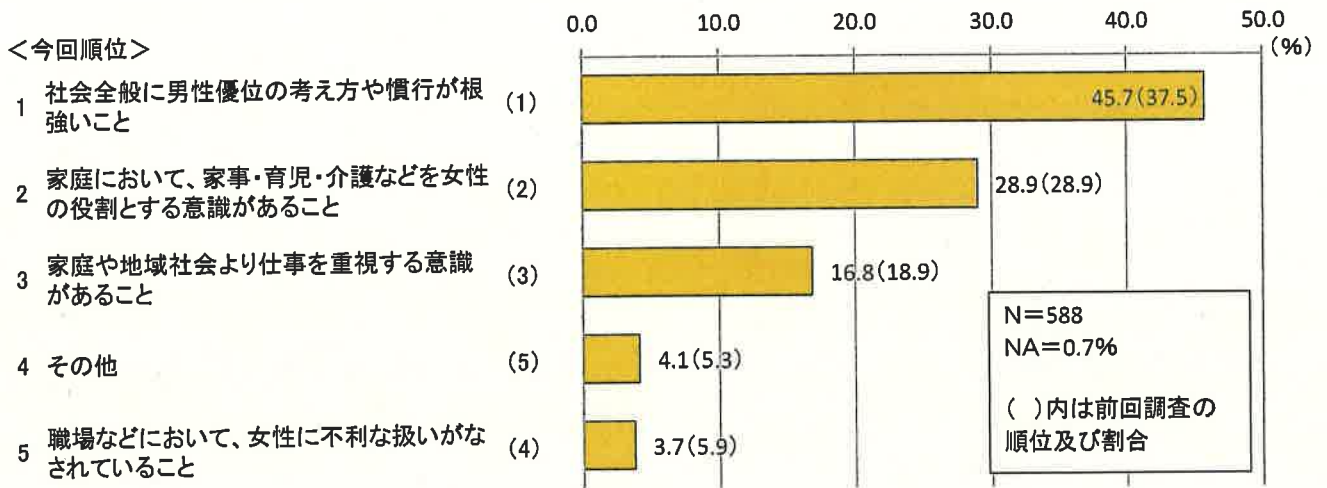
図表 「地域」で身に付けること



【男女共同参画の推進】

問 本県で、男女共同参画社会の実現が十分に達成されていないとすれば、その主な要因は何であるとお考えでしょうか。(1つ選択)

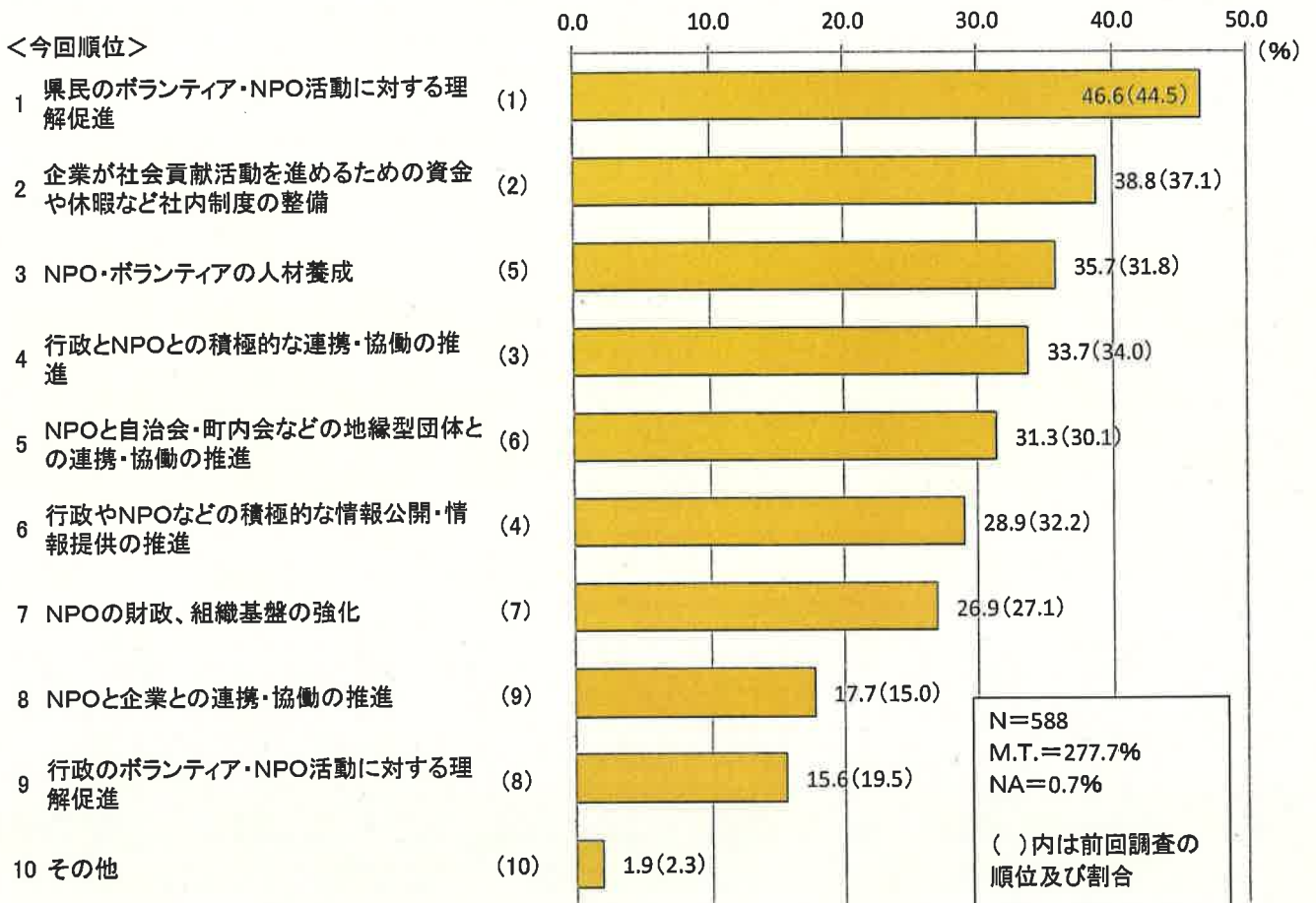
●男女共同参画社会達成実現には男性優位の考え方や慣行を見直すことが重要



【地域の中での協働の推進】

問 本県で、行政、ボランティア・NPO、企業などが、お互いの特性を活かして社会づくりを進めていくためには、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(3つまで選択)。

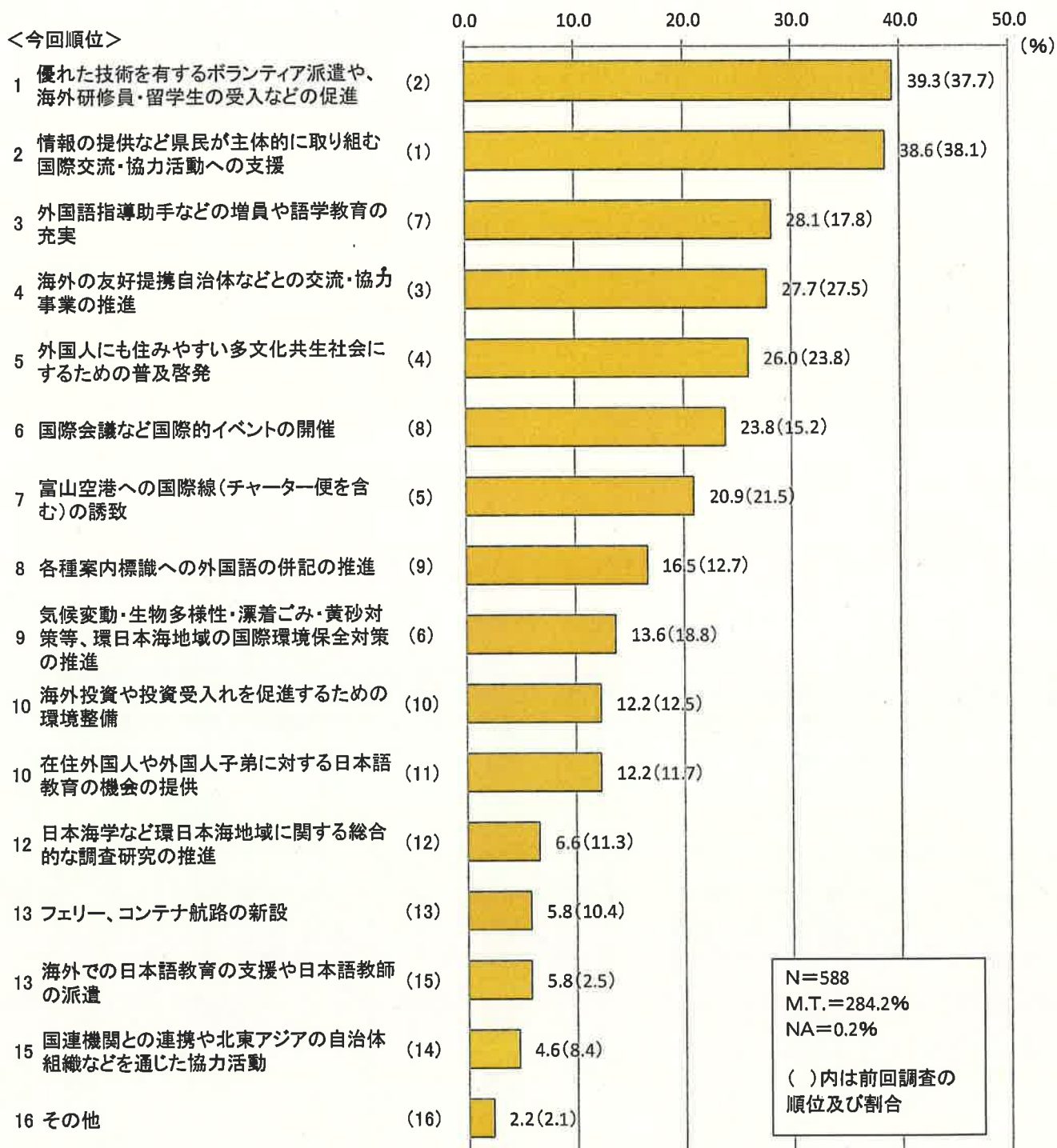
●県民のボランティア・NPO活動に対する理解を押し進める施策を



【国際交流・国際協力】

問 本県の国際交流・国際協力施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(3つまで選択)

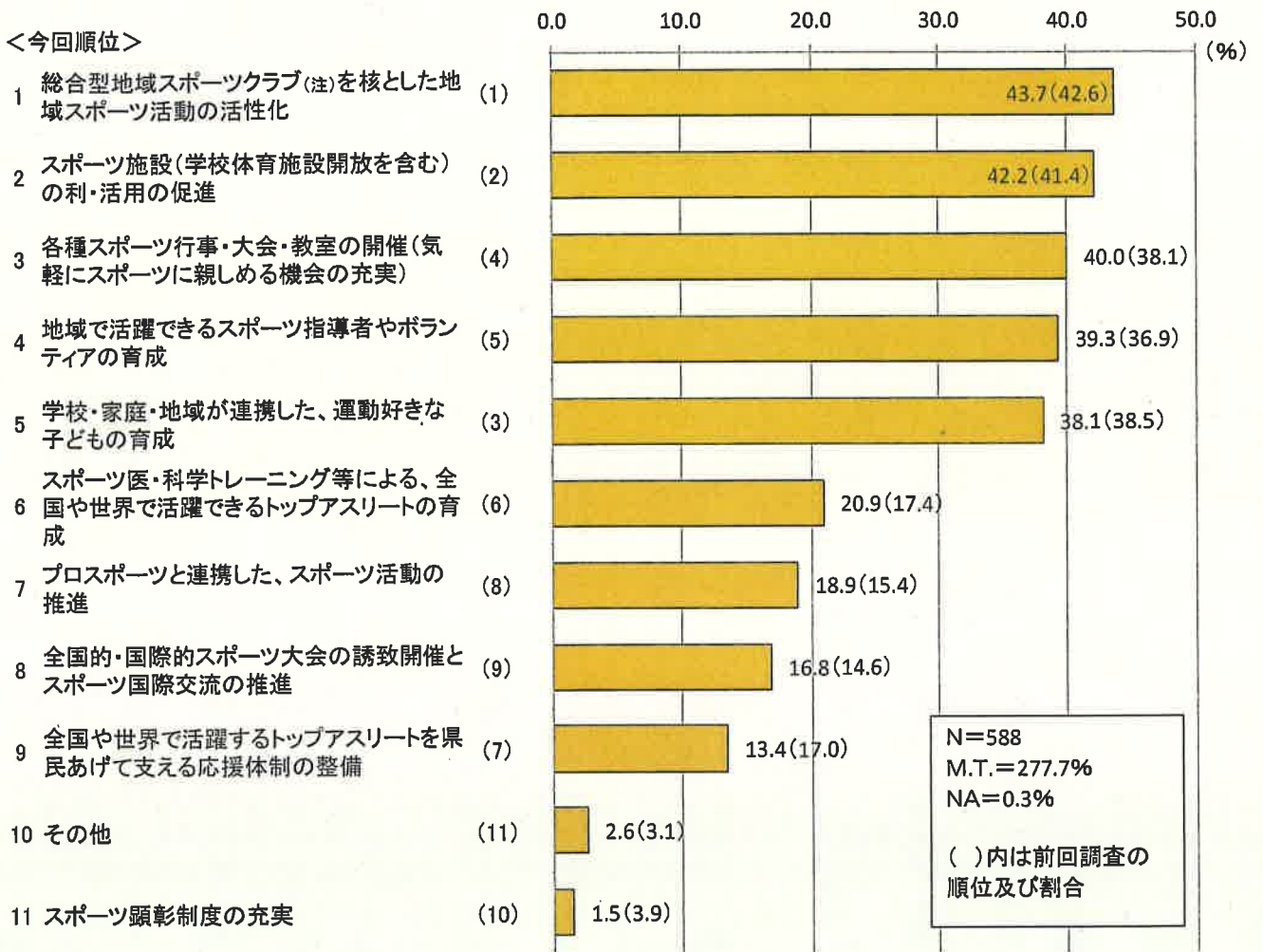
●優れた技術を有するボランティア派遣、海外研修員などの受入促進で国際協力・国際交流を



【スポーツ振興】

問 本県のスポーツ振興施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(3つまで選択)

●地域スポーツ活動の活性化でスポーツ振興

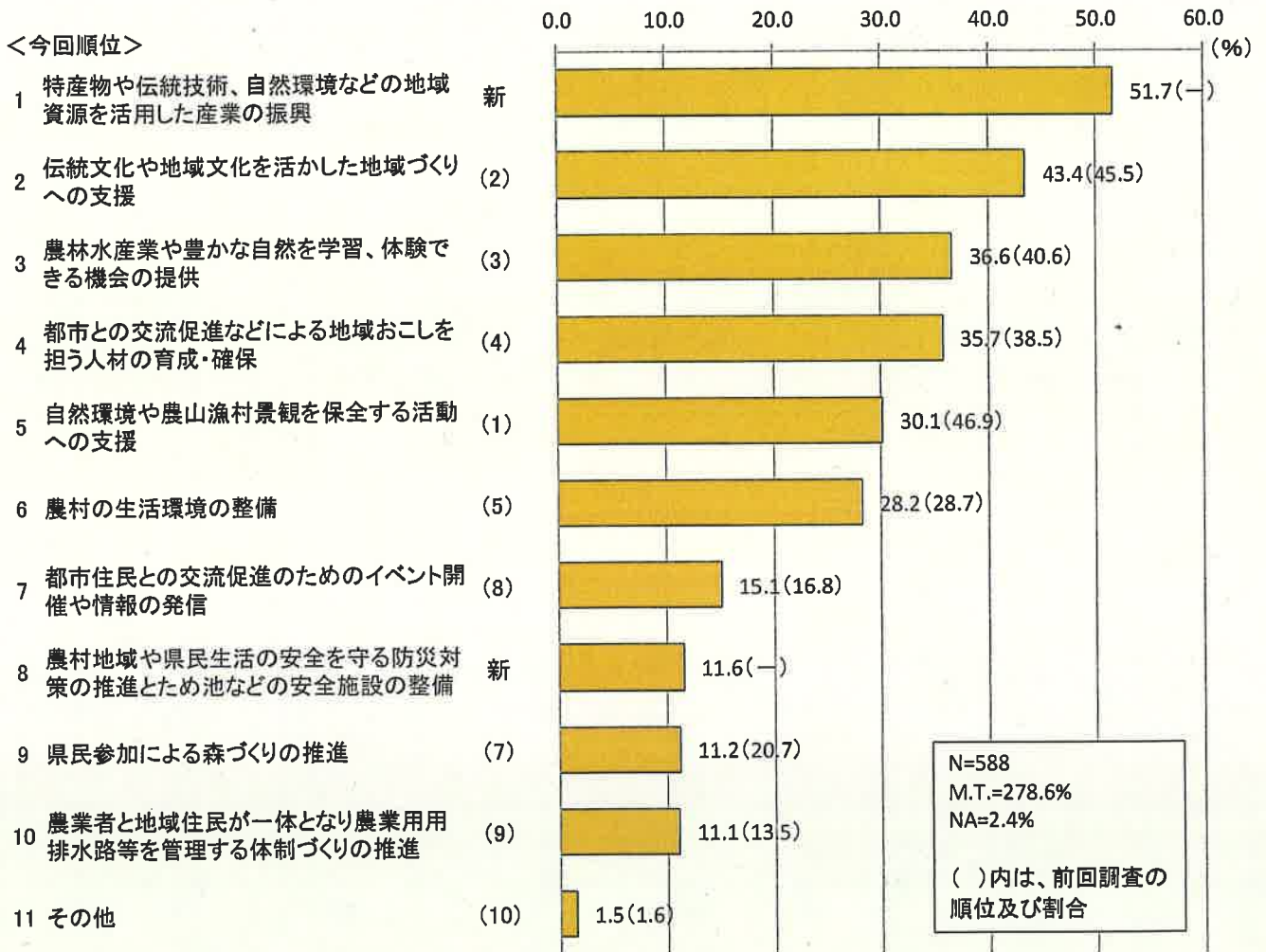


(注) 総合型地域スポーツクラブ：地域住民が主体的に運営するクラブで、複数の種目が用意されており、地域の誰もが、年齢、興味、関心、技術、技能レベルなどに応じて参加できるスポーツクラブ

【農山漁村の課題】

問 本県の住みよい農山漁村をつくるための施策として、今後10年間を通して、基盤となる農林水産業の発展のほか、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(3つまで選択)

●住みよい農山漁村をつくるためには特産物や伝統技術など地域資源を活用した産業の振興が重要

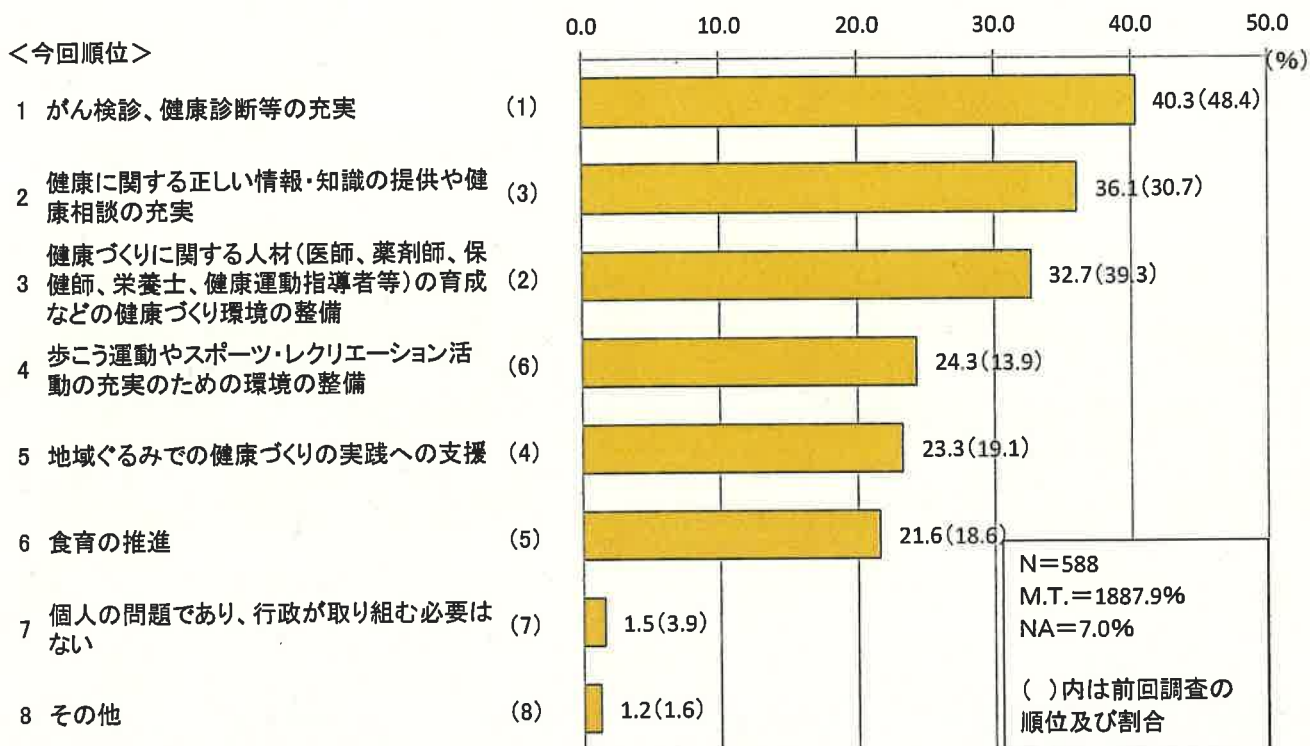


分野ごとの課題や施策の方向性 (安心)

【健康づくり】

問 本県の健康づくり施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。(2つまで選択)

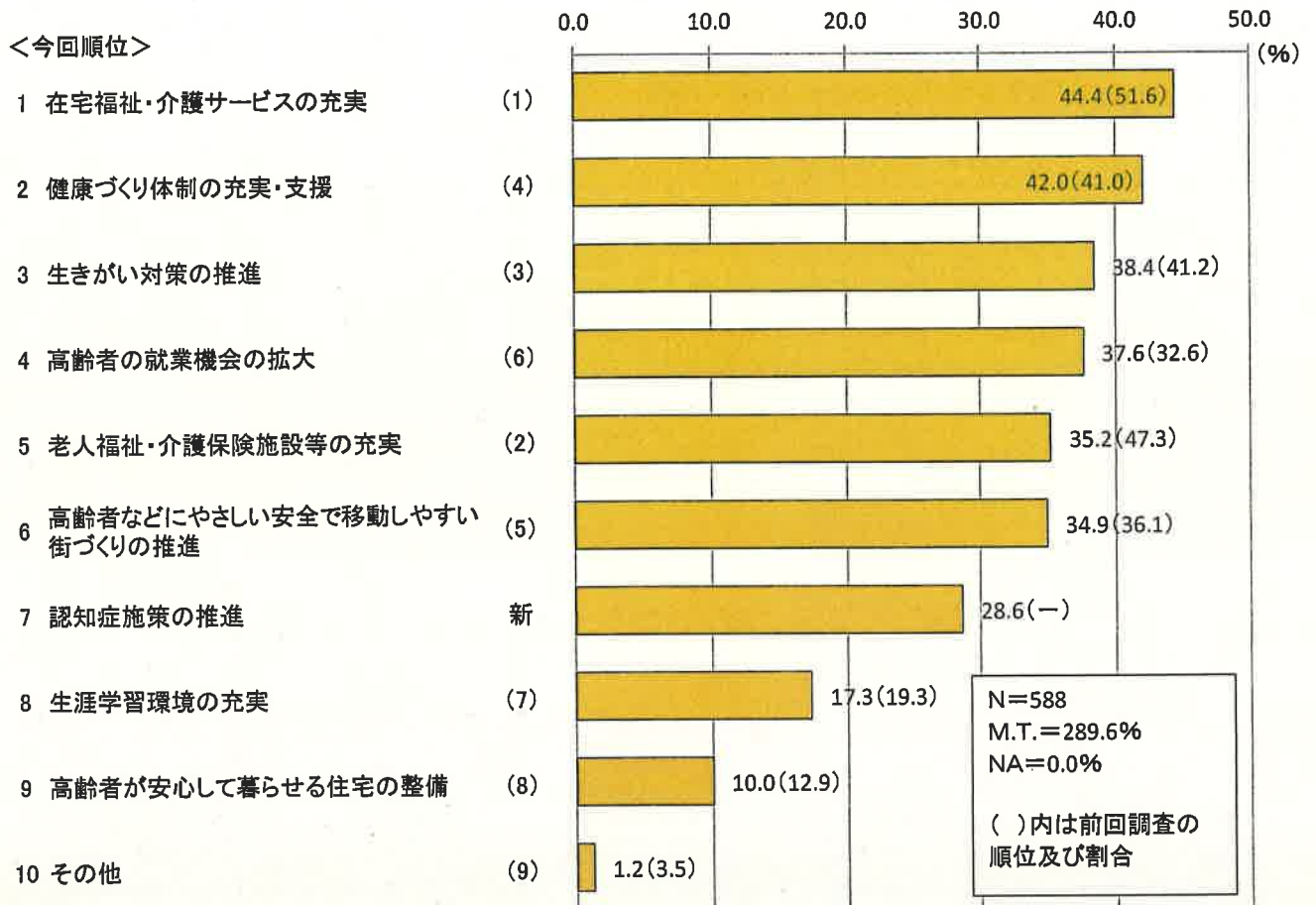
●健康づくりには、がん検診、健康診断の充実と正しい情報・知識の提供が重要



【高齢社会対策】

問 高齢化が進展していく中で、本県の高齢社会対策の施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。(3つまで選択)

●高齢化社会対策は、「在宅福祉・介護サービスの充実」と「健康づくり体制の充実・支援」

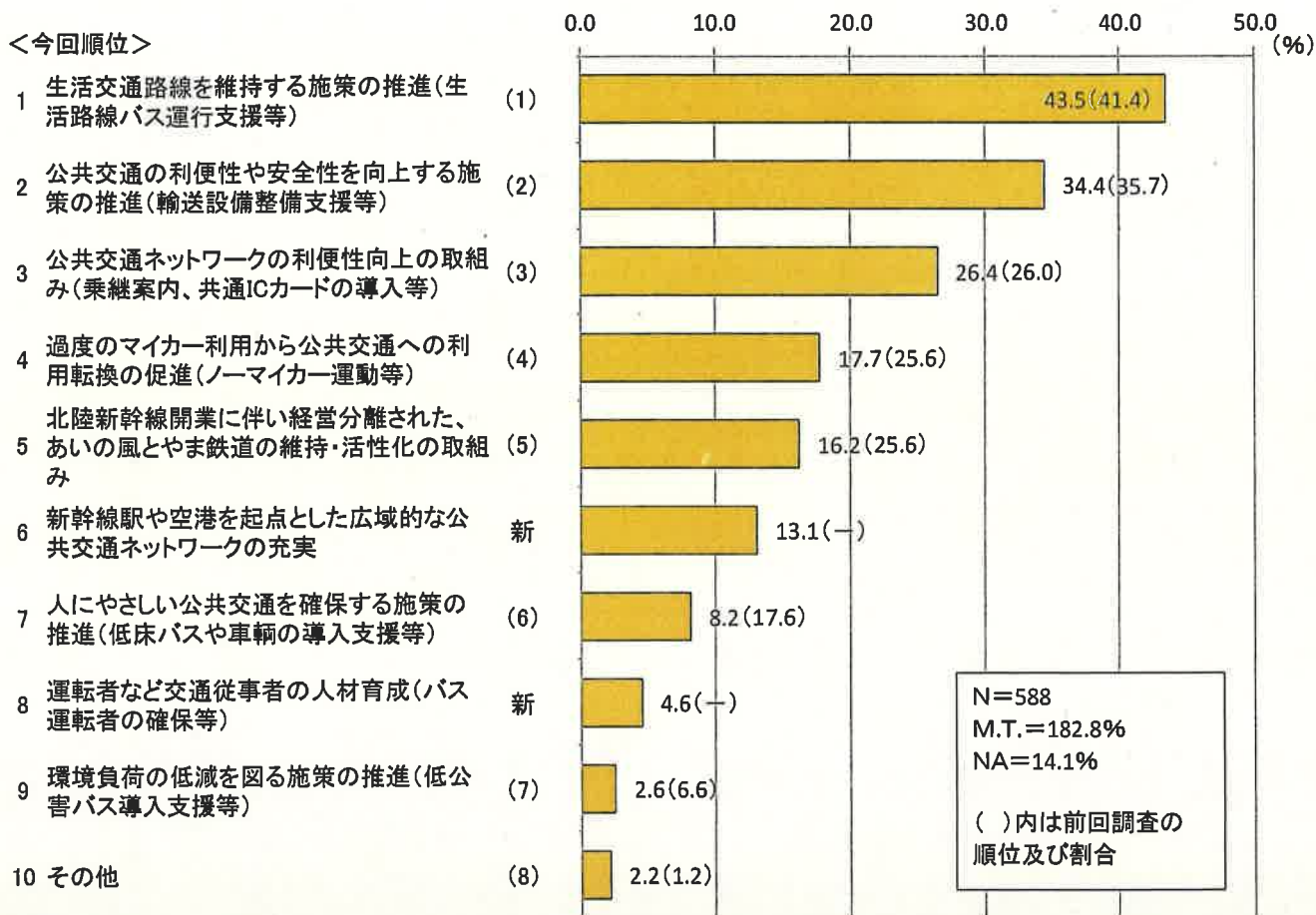


【地域交通施策】

問 本県の鉄道、路面電車、バスなどの地域公共交通に対する施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。(2つ選択)

●地域公共交通にとって重要な施策は生活交通路線の維持推進

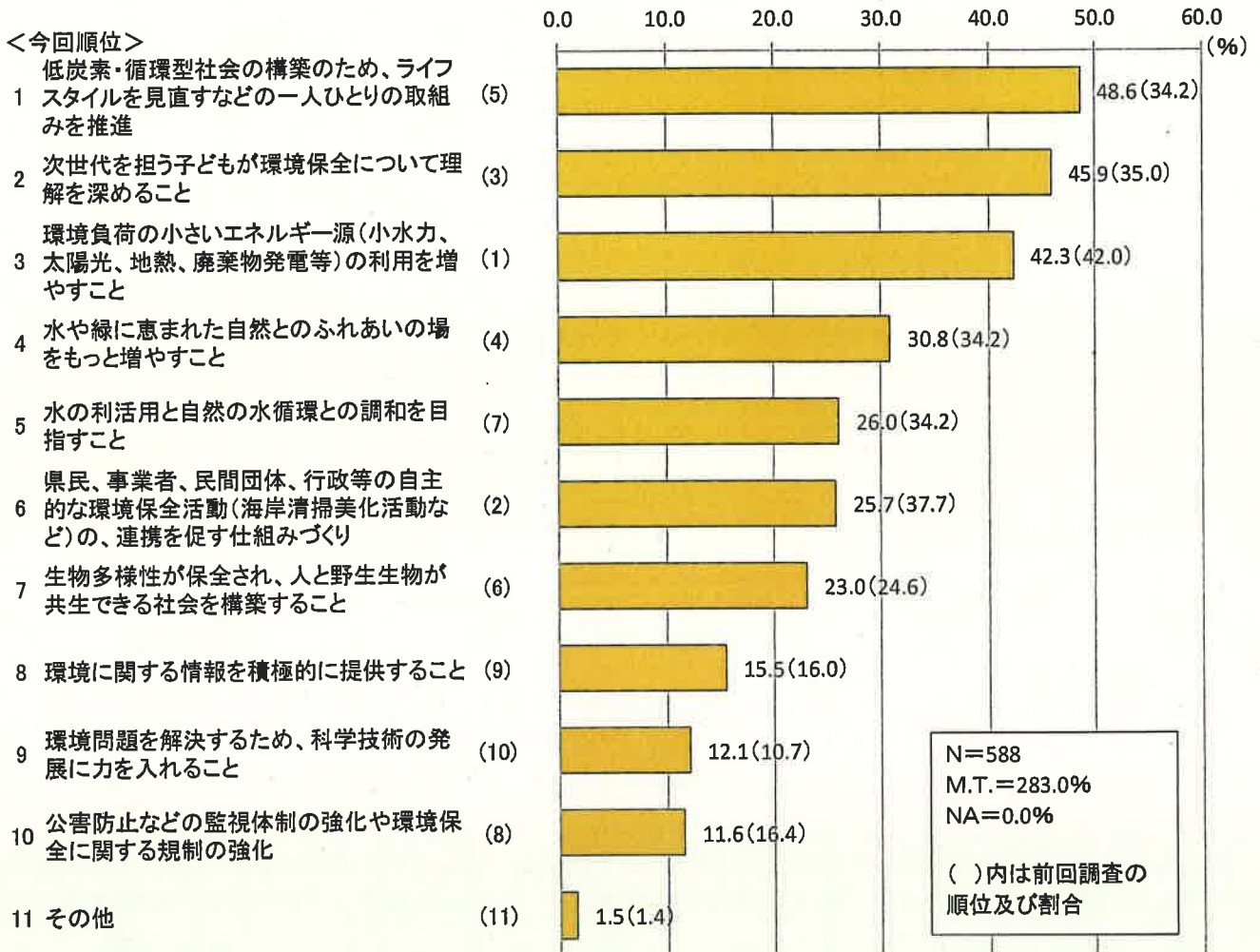
<今回順位>



【環境問題】

問 本県の環境施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。(3つまで選択)

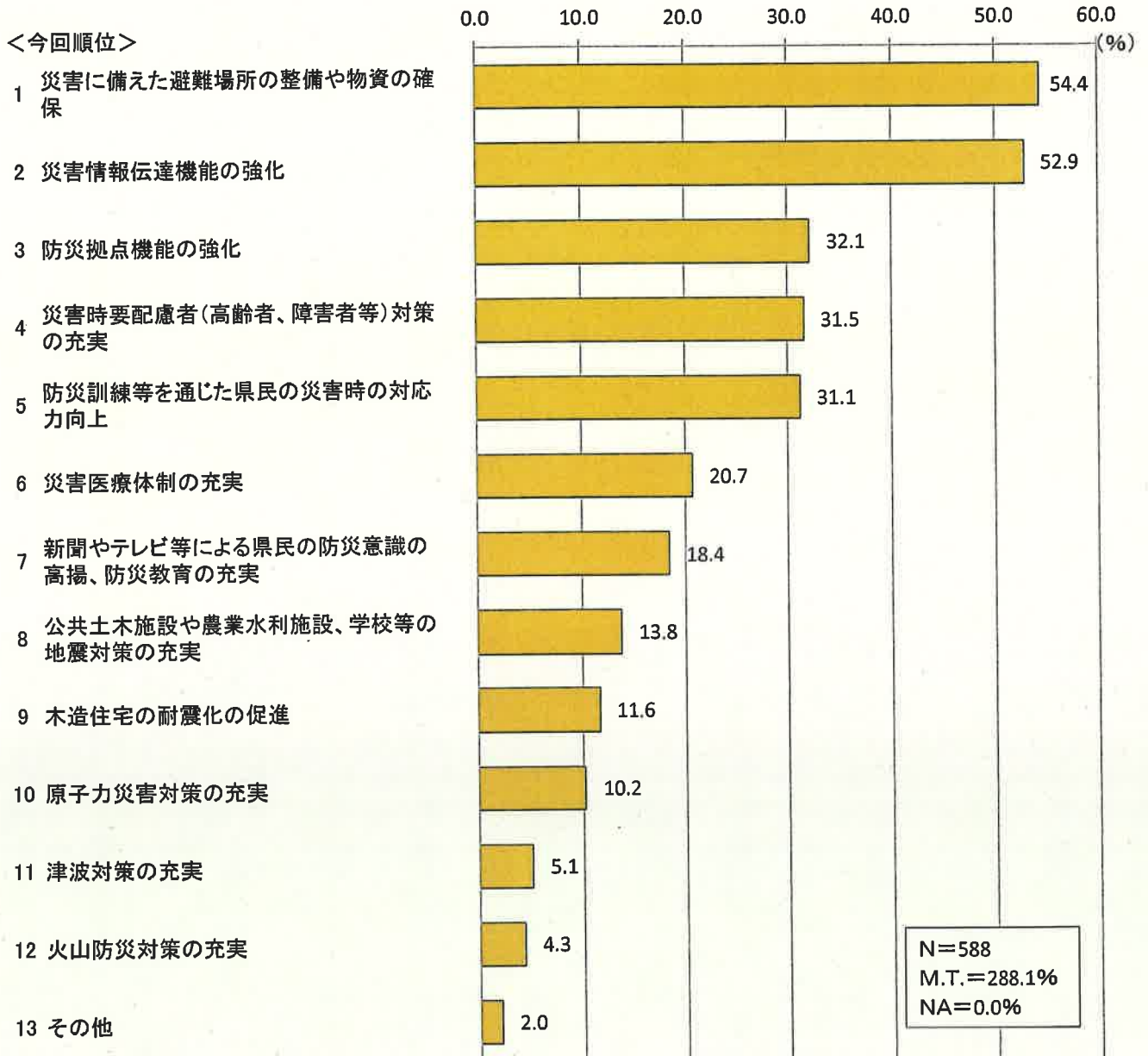
●一人ひとりのライフスタイルの見直しによる低炭素・循環型社会の構築の推進



【防災対策】

問 本県の防災対策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要になるとお考えですか。(3つまで選択)

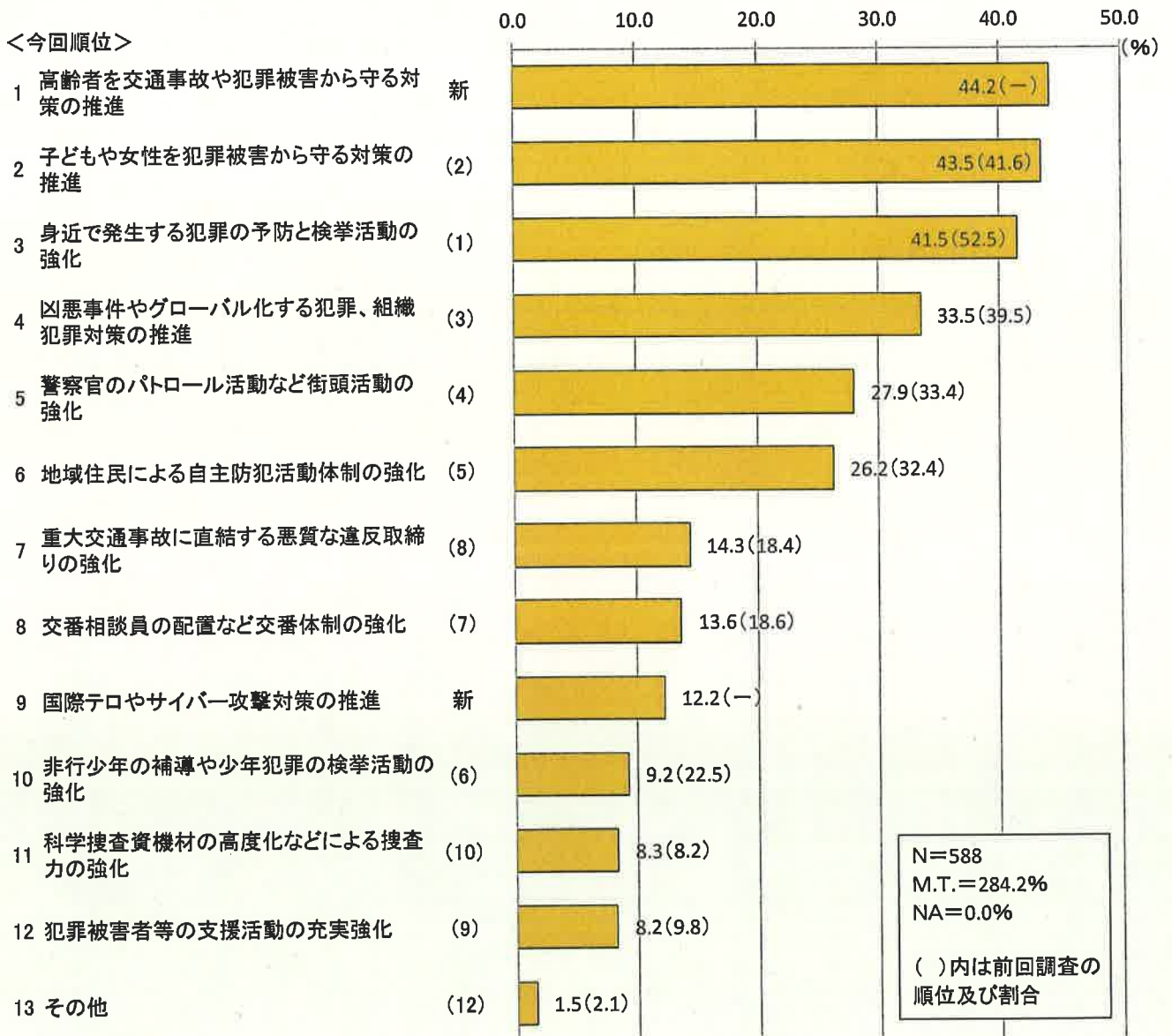
●避難場所の整備・物資の確保、災害情報伝達機能の強化で災害に備える



【安全なまちづくり】

問 県民の治安に対する関心は高まっておりますが、本県の安全なまちづくりへの施策として、今後10年間を通して、特にどのようなことが重要だとお考えですか。(3つまで選択)

●安全なまちづくりのために高齢者、子ども、女性を事故や犯罪被害から守る対策の推進



(3) 若者 アンケート調査

若者アンケート調査概要

○対象

県内外に在住する18歳～29歳の男女 3,600名 →回答:1,051人(29.2%)

○結果の要点

1 定住・就業・結婚・家庭に関する意識

(1) 富山県の暮らしの満足度、定住意識

県内在住者の80.5%が現在の暮らしに満足と回答している。また、県内在住者のうち、県内出身者は94.0%*が富山県に住み続けたいとの意向を持っており、県外出身者でも約62.7%*は県内に住み続ける意向を持っている。また、**県内出身の県外在住者においても、約86.3%*が富山に戻って住みたいとの意向を示している。**

*「一定の条件が整えば住みたい」と回答した者を含む

(2) 就業意識

働く上で重要と考えることは、仕事の面白さ、人間関係の充実、安定性が上位を占め、高収入、知識・技能の活用が続いている。県内出身者で県内在住の80.7%、**県外在住者の51.5%が県内企業への就職を希望している一方で、県外出身者で県内在住の県内企業への就職希望者は20.0%となっている。**

(3) 結婚観

結婚についてのイメージは、子どもを持ち家庭を築く喜びがあるといった肯定的な回答が50%以上であるが、**時間・自由の制約や家事・育児の負担といった否定的な回答もそれぞれ30%程度あった。**また、結婚したい年齢は25～29歳との回答が過半数を占めている。

(4) 子ども観

子どもを持つことについては、子どもはかわいい、家族の絆・幸福感がもてるといった肯定的な回答が50%前後で上位を占めており、お金や手間の負担、時間・自由の制約といった否定的な回答はそれぞれ20%前後となっている。また、**ほしい子どもの数を持たない理由としては、金銭負担が約75%と圧倒的多数を占めている。**

2 富山県の現状と課題・将来像

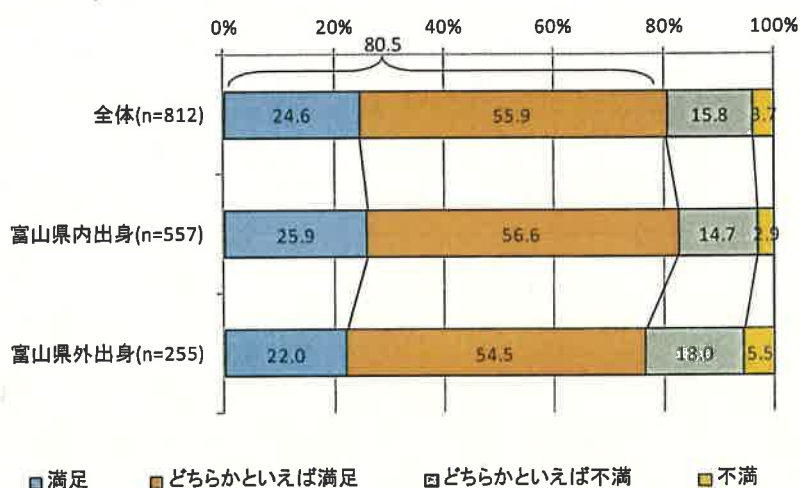
富山県の誇り、魅力として自慢できることは、**食べ物がおいしいこと、自然環境に恵まれていること、空気や水がきれいなことといった地域資源に関する項目で過半数の回答があった。**一方、**未来の富山県をよくするためには、娯楽施設を増やす、活気のある商店街、道路・鉄道などの整備、コンサート・プロスポーツを見る機会といった、都会的な利便性を求める回答が上位であった。**

○調査結果(抜粋)

A. 富山県での暮らしの満足度

問 あなたは、現在の地域(富山県)での暮らしに満足していますか？

・ 8割が(どちらかといえ
ば)満足と回答、富山県内
出身の方が県外出身者に
比べて、満足しているとの
回答が多い。



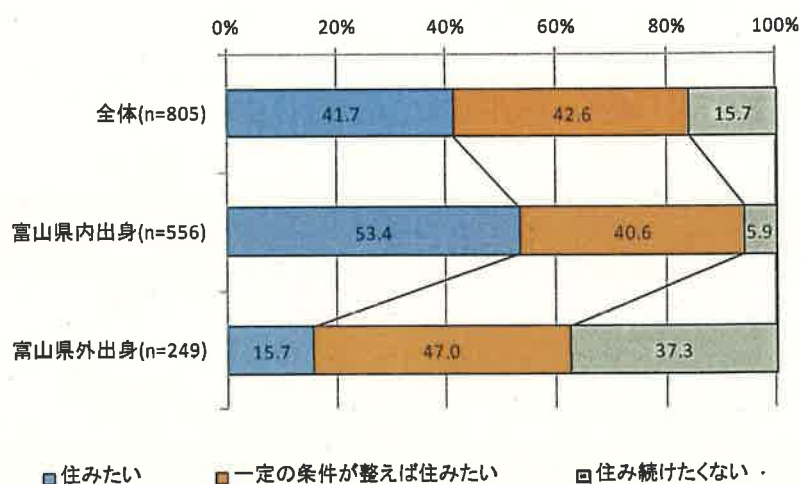
B. 定住意識

問 あなたは、このまま富山県に将来も住み続けたい(戻って住みたい)と思いますか？

<県内在住者>

・ 住み続けたいとの回答
は8割、県外出身者は4
割弱が住み続けたくないと
回答。

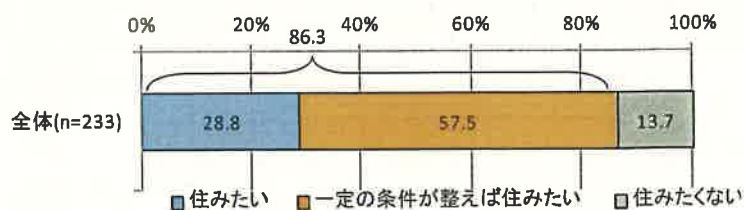
※「一定の条件」は街の
活気、就職先が4割。県
外出身者は「就職先」が
トップ



<県外在住者>

・ 一定の条件付きも含め
ると約85%が戻って住み
たいと回答。

※「一定の条件」は、
「就職先」が7割強



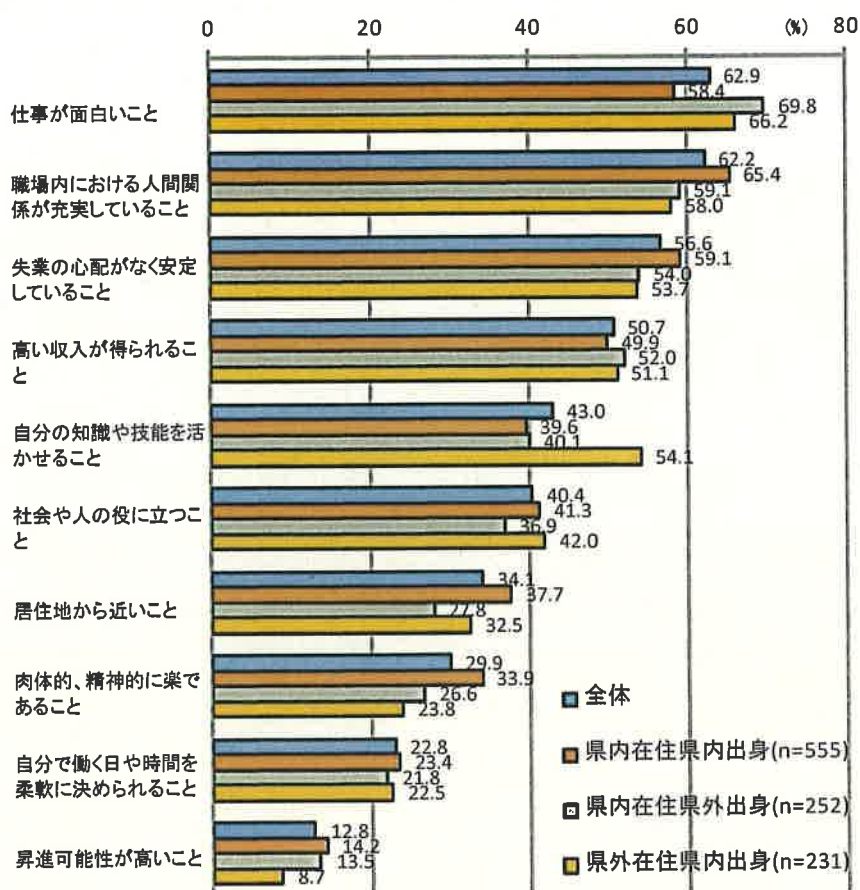
C. 就業意識

問 働く上で重要だと考えることは何ですか？(複数回答可)

・全体の順位は

- ①「仕事の面白さ」
- ②「人間関係の充実」
- ③「安定性」

・県内在住の県外出身者は「仕事の面白さ」がトップ。



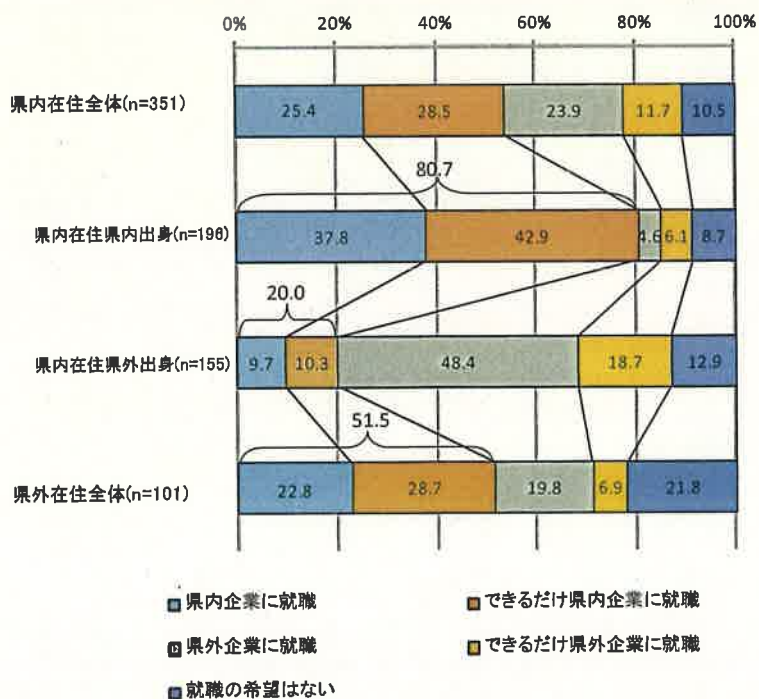
問 将来、希望する就職先等について当てはまるものはどれですか？

<県内在住者>

・県内出身者は8割が県内企業への就職を希望する一方、県外出身者は2割にとどまる。

<県外在住者>

・県内出身者の半数は県内企業を指向している。

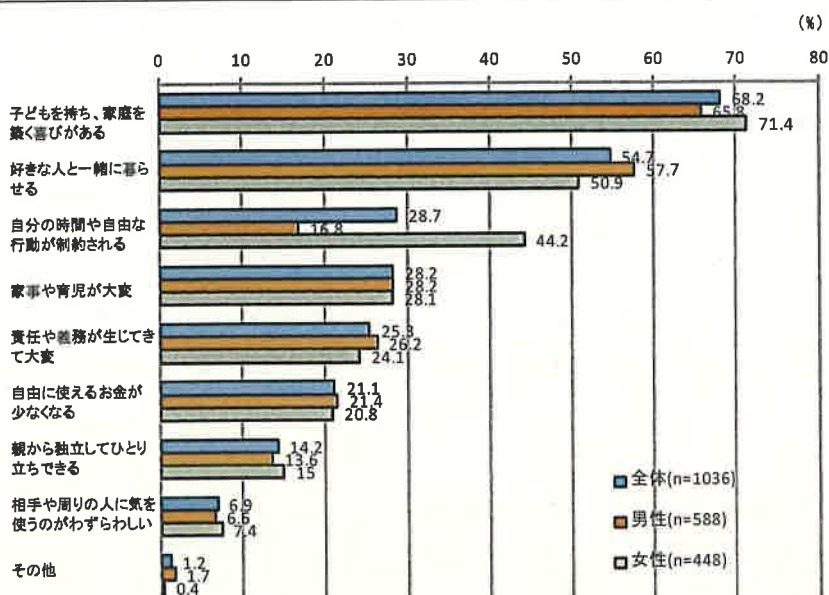


D. 結婚観

問 あなたは、結婚についてどのようなイメージを持っていますか？ (全員・複数回答可)

・「子供を持ち家庭を築く喜び」「好きな人と一緒に暮らせる」など肯定的な回答が多い。

・次いで「時間が制限される」となるが、女性と男性で30ポイント近い差がある。



問 結婚するとしたら何歳までにしたいですか？ (未婚者のみ)

(県内在住者)

・20代後半(25~29歳)で結婚したいという回答が約6割で最も多い。

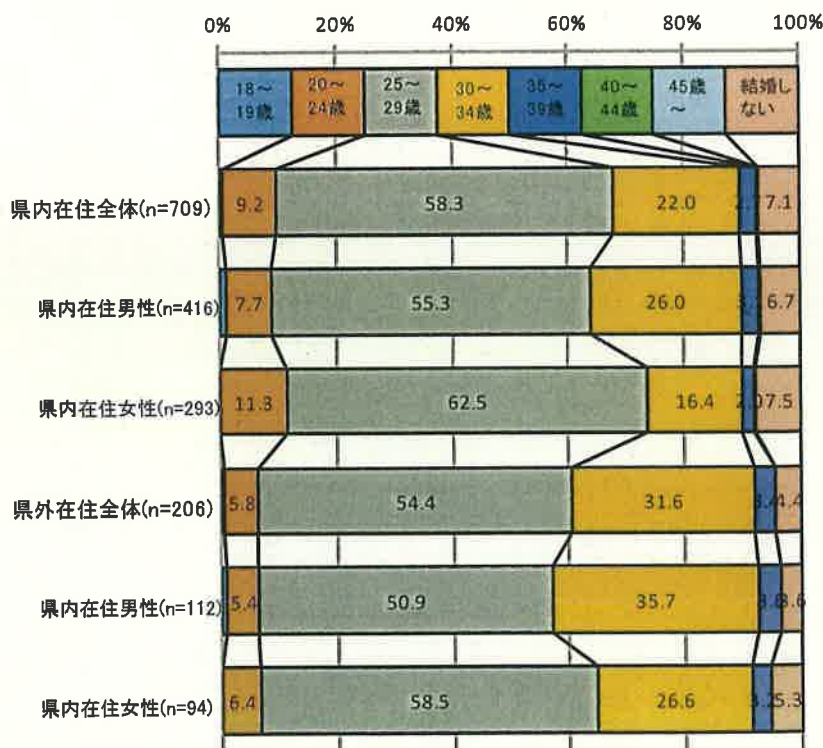
・結婚を希望する回答者の内、ほぼ全数が30代前半までの結婚を望んでいる。

※30代以降に結婚したいと回答した理由について、約6割の女性が「適当な相手に巡り会わない」と回答

(県外在住者)

・結婚をするつもりがないとの回答者は4.4%と県内在住者の7.1%に比べて少ない。

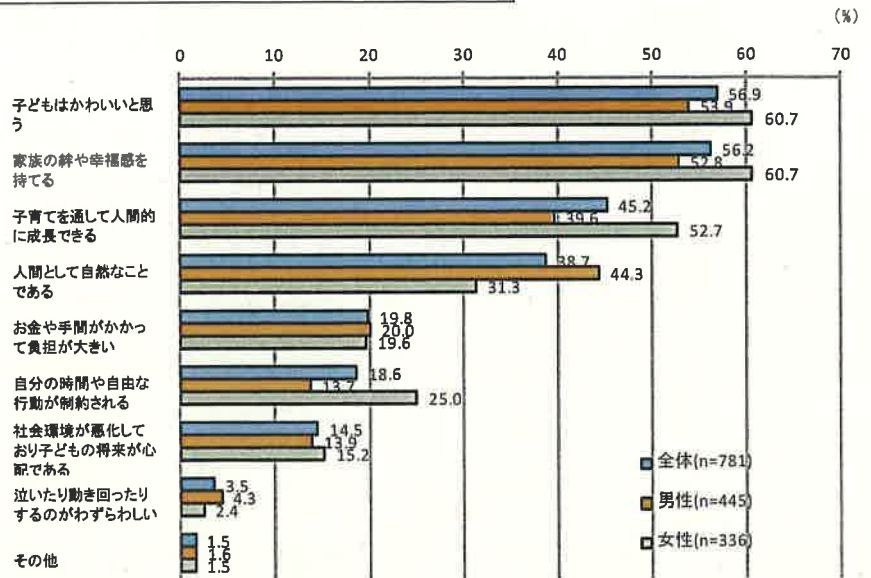
・30代前半との回答者が31.6%であり、県内在住者の22.0%よりも多い。



F. 子供観（県内在住者）

問 あなたは、子どもを持つことについてどう思いますか？（複数回答可）

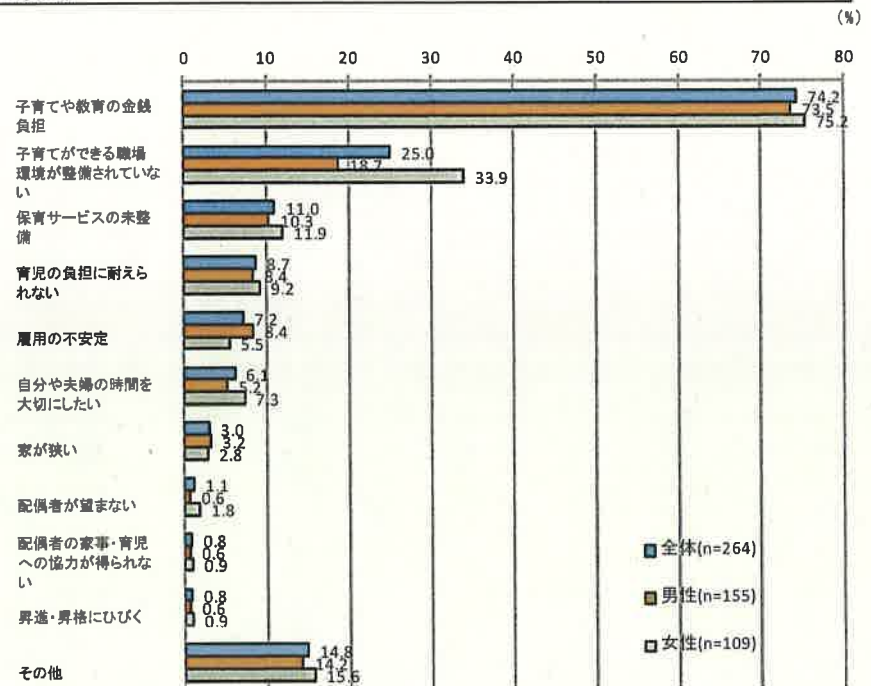
- ・ 子供に対する肯定的な意見が上位を占める。
- ・ 女性は男性より子どもの肯定的な見方に対する評価が高い。
- ・ 「時間が制約される」ことの回答も男女間で差がある。



問 「ほしい子どもの数」と「現実的な子どもの数」にギャップがある方に伺います。

その理由はなぜですか？（複数回答可）

- ・ 「金銭的な負担」を理由が圧倒的に多く、また女性は「子育てができる職場環境」との理由が多い。

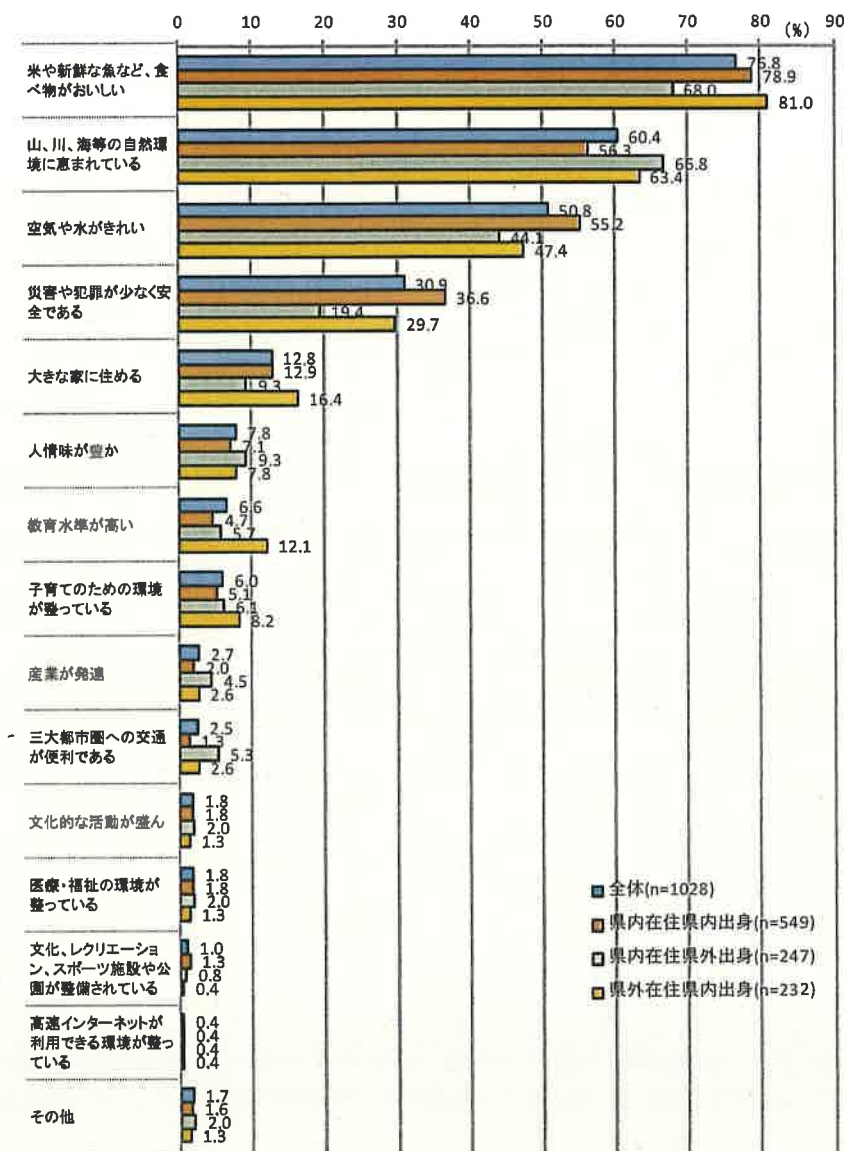


G. 富山県の現状と課題・将来像について

問 あなたが友達などに自慢できる富山県の誇り、魅力は何ですか？(複数回答可)

・「食べ物おいしい」
「自然環境に恵まれている」「空気や水がきれい」などの地域資源が上位を占める。

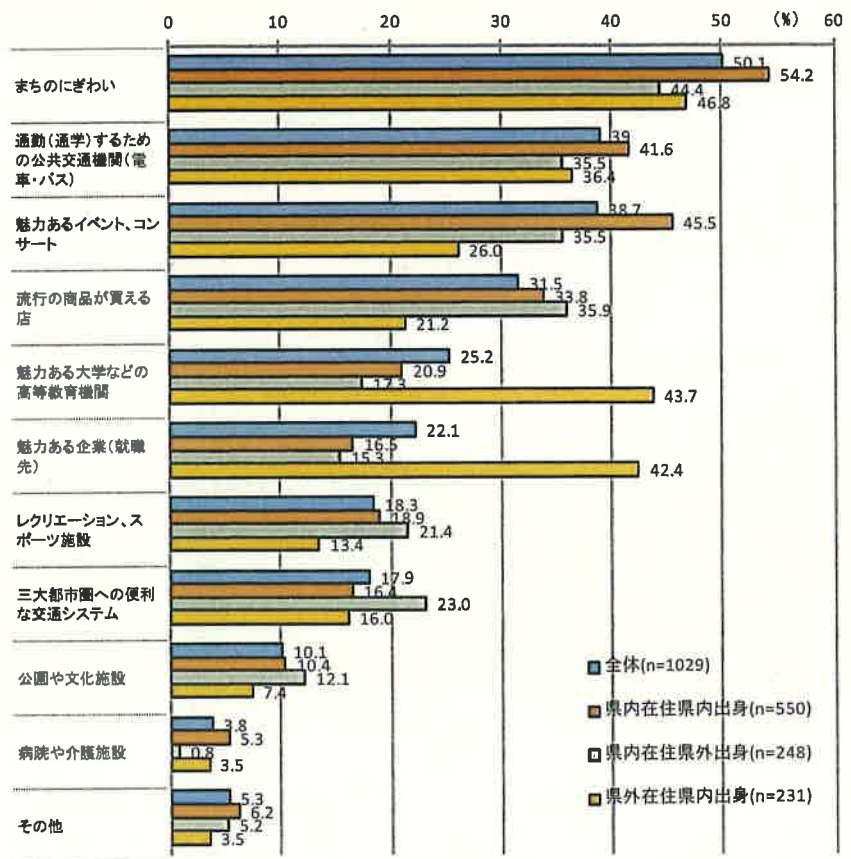
・「食べ物おいしい」「空気や水がきれい」「災害や犯罪が少ない」については、県内出身の方が強く意識している。



問 あなたにとって、現在の富山県に不足しているものは何ですか？ (複数回答可)

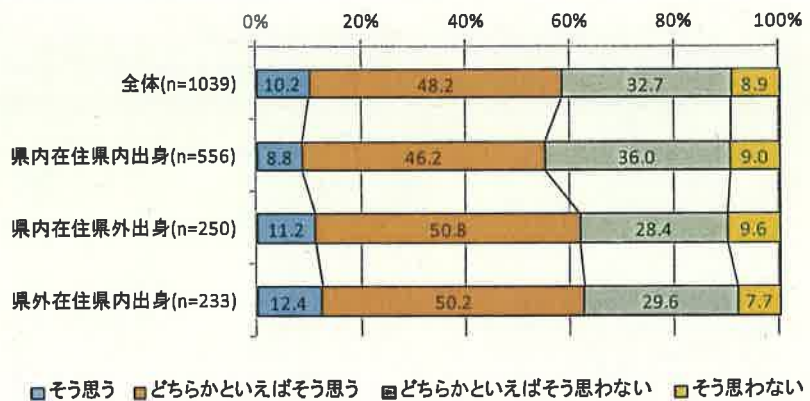
・「まちなぎわい」「イベント・コンサート」「流行の商品が買える店」などのにぎわいや商業環境に係る項目や公共交通機関が上位となっている。

・県外在住者は「まちなぎわい」に次いで、「高等教育機関」「魅力ある企業(就職先)」などの回答が上位となっている。



問 あなたは、富山県の未来は明るいと思いますか

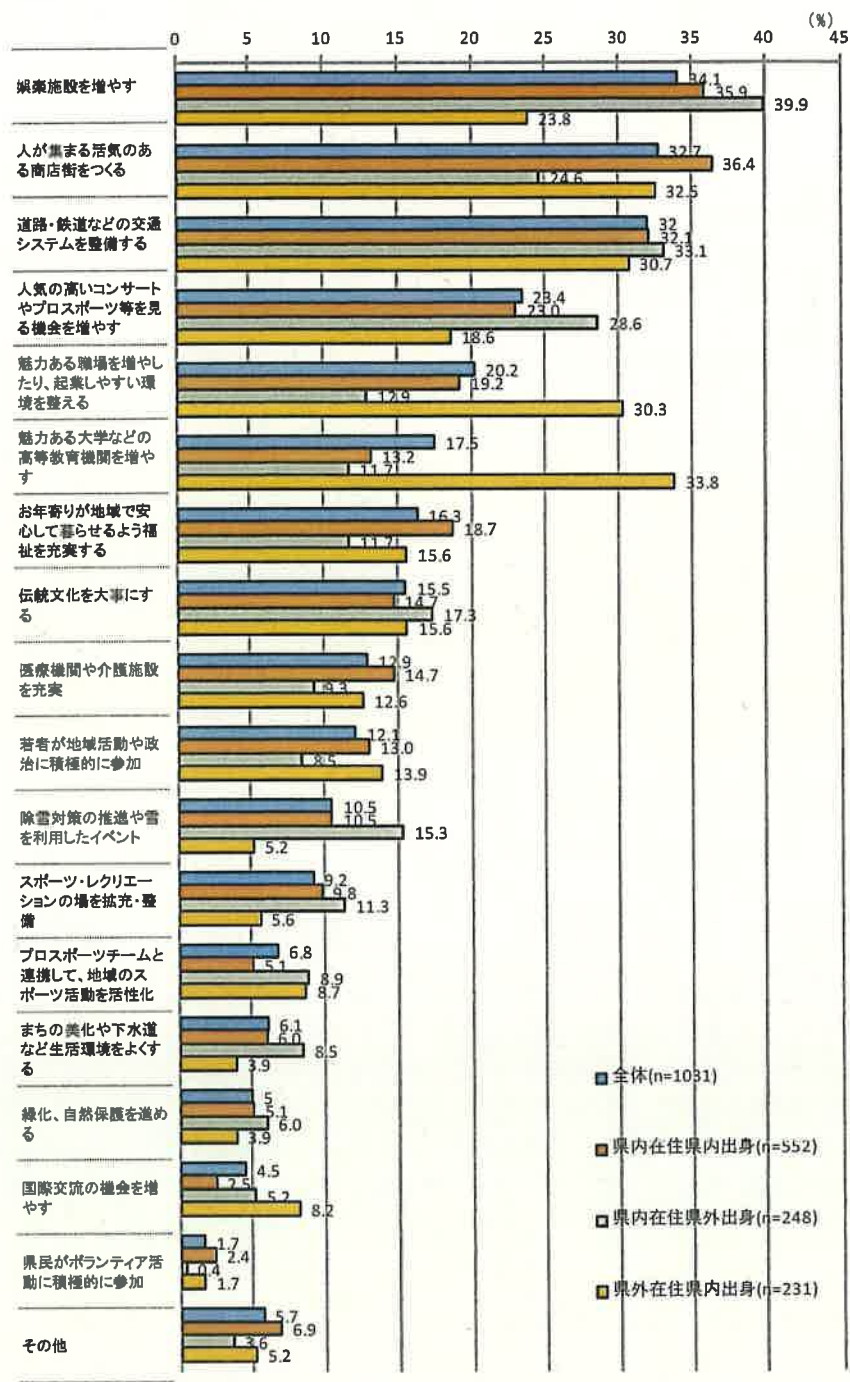
・県内在住の県内出身者は、県外出身者や県外在住者に比べて未来に対してやや悲観的。



問 あなたは、未来の富山県をよくするためには、今後10年間でどのような取組みをすればよいと思いますか？(複数回答可)

・「**娯楽施設を増やす**」
 「人が集まる活気のある商店街をつくる」、「人気の高いコンサートやプロスポーツ等を見る機会を増やす」や「道路・鉄道などの交通システムの整備」に関する項目が上位を占めている。

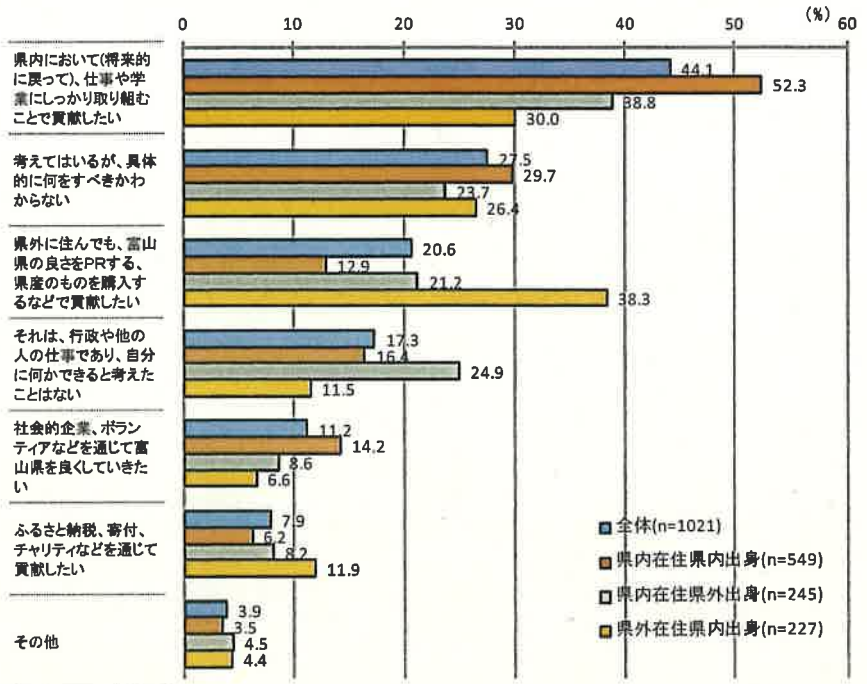
・**県外在住者は「高等教育機関を増やす」**や「魅力ある職場を増やす」との回答が上位となっている。



問 あなたは、未来の富山県をよくするために、何か行動しようと思いますか？(複数回答可)

・県内在住の県内出身者は「仕事や学業への取り組み」を通して貢献するとの回答が約5割

・県外在住者は、「富山県のPRを通して貢献したい」との回答が最も多い。



(参考)

・調査方法

| | 県内高校卒業者 (県内出身) | 県内大学生 (県内出身、県外出身) | 県内企業就職者 (県内出身、県外出身) |
|------|-------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 調査対象 | 富山県内の高校卒業生（平成18年3月から平成28年3月）から当時の進学予定者を無作為に抽出 | 県内4大学（富山大学、富山県立大学、富山国際大学、高岡法科大学）の学生 | 県内で従業員30名以上を雇用する事業所に勤務する県内出身者で高校卒業で就職した従業員、および県外出身の従業員 |
| 配布枚数 | 2,000名 | 400名 (各大学100名) | 1,200名 (県内・県外出身 各600名) |
| 調査方法 | 県内在住者・県外在住者を問わず、卒業時の名簿住所に対して調査票を郵送し、配布。郵送による回収。インターネットによる回答も可とした。 | 各大学の事務局を通して配布。大学事務局担当者及び郵送による回収。 | 事業所に対して調査票を発送し、郵送により回収。インターネットによる回答も可とした。 |

・有効回答数

| | 県内高校卒業者 | 県内大学生 | 県内企業就業者 | 合計 |
|------------------------|---------|-------|---------|-------|
| 県内在住者 及び 県内企業就業者 | 241 | 296 | 280 | 817 |
| 県外在住者 | 234 | — | — | 234 |
| 合計 | 475 | 296 | 280 | 1,051 |
| 回収率 | 23.8% | 74.0% | 23.3% | |

・回答者の主な属性

①年齢

| 上段:度数 下段:% | | 年齢 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|-----|--------------|--------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|-----------|----------|
| | | 合計 | 18歳 | 19歳 | 20歳 | 21歳 | 22歳 | 23歳 | 24歳 | 25歳 | 26歳 | 27歳 | 28歳 | 29歳 | 30歳以上 | |
| 県内在住者 | 全体 | 814 100.0 | 20 2.5 | 121 14.9 | 105 12.9 | 126 15.5 | 58 6.9 | 65 8.0 | 45 5.5 | 59 7.2 | 61 7.5 | 54 6.6 | 48 5.9 | 52 6.4 | 2 0.2 | |
| | 性別 | 男性 | 473 100.0 | 13 2.7 | 87 18.4 | 55 11.6 | 88 18.6 | 36 7.6 | 31 6.6 | 19 4.0 | 35 7.4 | 33 7.0 | 23 4.9 | 28 5.9 | 25 5.3 | - |
| | | 女性 | 341 100.0 | 7 2.1 | 34 10.0 | 50 14.7 | 38 11.1 | 20 5.9 | 34 10.0 | 26 7.6 | 24 7.0 | 28 8.2 | 31 9.1 | 20 5.9 | 27 7.9 | 2 0.6 |
| | 出身地 | 富山県 | 557 100.0 | 11 2.0 | 63 11.3 | 67 12.0 | 91 16.3 | 39 7.0 | 49 8.8 | 32 5.7 | 42 7.5 | 49 8.8 | 37 6.6 | 36 6.5 | 40 7.2 | 1 0.2 |
| | | 富山県外 | 257 100.0 | 9 3.5 | 58 22.6 | 38 14.8 | 35 13.6 | 17 6.8 | 16 6.2 | 13 5.1 | 17 6.6 | 12 4.7 | 17 6.6 | 12 4.7 | 12 4.7 | 1 0.4 |
| 県外在住者 | 全体 | 233 100.0 | 7 3.0 | 39 16.7 | 26 11.2 | 27 11.6 | 15 6.4 | 14 6.0 | 13 5.6 | 11 4.7 | 19 8.2 | 17 7.3 | 28 12.0 | 16 6.9 | 1 0.4 | |
| | 性別 | 男性 | 123 100.0 | 2 1.6 | 21 17.1 | 14 11.4 | 12 9.8 | 8 6.5 | 11 8.9 | 5 4.1 | 5 4.1 | 12 9.8 | 6 4.9 | 16 13.0 | 10 8.1 | 1 0.8 |
| | | 女性 | 110 100.0 | 5 4.5 | 18 16.4 | 12 10.9 | 15 13.6 | 7 6.4 | 3 2.7 | 8 7.3 | 6 5.5 | 7 6.4 | 11 10.0 | 12 10.9 | 6 5.5 | - |

②出身地（県内在住者）

| 上段:度数 下段:% | | 問4出身地 | | | | | | | | | |
|---------------|------|-------|-------|------|-----|------|-----|------|-----|------|--|
| | | 合計 | 富山県 | 石川県 | 福井県 | 新潟県 | 岐阜県 | 愛知県 | 東京都 | その他 | |
| 全体 | | 817 | 559 | 50 | 14 | 31 | 12 | 33 | 3 | 115 | |
| | | 100.0 | 68.4 | 6.1 | 1.7 | 3.8 | 1.5 | 4.0 | 0.4 | 14.1 | |
| 性別 | 男性 | 475 | 303 | 31 | 11 | 17 | 7 | 24 | 2 | 80 | |
| | | 100.0 | 63.8 | 6.5 | 2.3 | 3.6 | 1.5 | 5.1 | 0.4 | 16.8 | |
| 性別 | 女性 | 342 | 256 | 19 | 3 | 14 | 5 | 9 | 1 | 35 | |
| | | 100.0 | 74.9 | 5.6 | 0.9 | 4.1 | 1.5 | 2.6 | 0.3 | 10.2 | |
| 出身地 | 富山県 | 559 | 559 | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 100.0 | 100.0 | - | - | - | - | - | - | - | |
| 出身地 | 富山県外 | 258 | - | 50 | 14 | 31 | 12 | 33 | 3 | 115 | |
| | | 100.0 | - | 19.4 | 5.4 | 12.0 | 4.7 | 12.8 | 1.2 | 44.6 | |
| 就業の有無 | 就業 | 451 | 351 | 21 | 7 | 16 | 5 | 6 | 1 | 44 | |
| | | 100.0 | 77.8 | 4.7 | 1.6 | 3.5 | 1.1 | 1.3 | 0.2 | 9.8 | |
| 就業の有無 | 未就業 | 366 | 208 | 29 | 7 | 15 | 7 | 27 | 2 | 71 | |
| | | 100.0 | 56.8 | 7.9 | 1.9 | 4.1 | 1.9 | 7.4 | 0.5 | 19.4 | |

③最終学歴

※県内4大学生向けには確認していない

| 上段:度数 下段:% | | 問10最終学歴 | | | | | | | | | | | | |
|---------------|------|---------|------|------------|--------|--------|-------|----------------|------------|------------|----------|----------|-----|-----|
| | | 合計 | 高校卒 | 専門学校・専修学校卒 | 短大・高専卒 | 4年生大学卒 | 大学院修了 | 在学中(専門学校・専修学校) | 在学中(短大・高専) | 在学中(4年生大学) | 在学中(大学院) | 在学中(その他) | 浪人中 | その他 |
| 全体 | | 521 | 142 | 46 | 44 | 199 | 29 | 9 | 5 | 36 | 2 | - | - | 9 |
| | | 100.0 | 27.3 | 8.8 | 8.4 | 38.2 | 5.6 | 1.7 | 1.0 | 6.9 | 0.4 | - | - | 1.7 |
| 性別 | 男性 | 257 | 86 | 16 | 6 | 101 | 22 | 4 | - | 16 | 2 | - | - | 4 |
| | | 100.0 | 33.5 | 6.2 | 2.3 | 39.3 | 8.6 | 1.6 | - | 6.2 | 0.8 | - | - | 1.6 |
| 性別 | 女性 | 264 | 56 | 30 | 38 | 98 | 7 | 5 | 5 | 20 | - | - | - | 5 |
| | | 100.0 | 21.2 | 11.4 | 14.4 | 37.1 | 2.7 | 1.9 | 1.9 | 7.6 | - | - | - | 1.9 |
| 出身地 | 富山県 | 421 | 130 | 41 | 34 | 144 | 11 | 9 | 5 | 36 | 2 | - | - | 9 |
| | | 100.0 | 30.9 | 9.7 | 8.1 | 34.2 | 2.6 | 2.1 | 1.2 | 8.6 | 0.5 | - | - | 2.1 |
| 出身地 | 富山県外 | 100 | 12 | 5 | 10 | 55 | 18 | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 100.0 | 12.0 | 5.0 | 10.0 | 55.0 | 18.0 | - | - | - | - | - | - | - |
| 就業の有無 | 就業 | 451 | 138 | 44 | 40 | 191 | 29 | - | - | 3 | 1 | - | - | 5 |
| | | 100.0 | 30.6 | 9.8 | 8.9 | 42.4 | 6.4 | - | - | 0.7 | 0.2 | - | - | 1.1 |
| 就業の有無 | 未就業 | 70 | 4 | 2 | 4 | 8 | - | 9 | 5 | 33 | 1 | - | - | 4 |
| | | 100.0 | 5.7 | 2.9 | 5.7 | 11.4 | - | 12.9 | 7.1 | 47.1 | 1.4 | - | - | 5.7 |